

「図書館まなびトーク」実践報告書

～ 図書館を利用して行った生涯学習の発表会～

平成22年11月
千葉県立西部図書館

はじめに

近年の高齢化社会において、人々が生きがいを持って充実した生活を送るために、生涯にわたり、いつでも、どこでも自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果を適切に生かすことができる生涯学習社会の実現を図ることが求められています。

図書館は、「これからの図書館の在り方検討協力者会議」が平成18年3月に取りまとめた『これからの図書館像』でも示されたように、「地域を支える情報拠点」として、住民が自ら、感性を磨き、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできない生涯学習施設であると考えています。

本年は、「文字・活字文化振興法」制定・施行5周年にあたることから、政官民が協力し、国をあげてあらゆる努力を重ねることを宣言し制定された「国民読書年」です。

また、県教育委員会では、平成22年3月に、今後5年間に実施していく『みんなで取り組む「教育立県ちば」プラン(千葉県教育振興基本計画)』を策定し、「図書館における読書活動の充実」など読書県「ちば」としての機運を高めていくこととしております。

この冊子は、国の方針や県の施策などに対応した具体的な事業のひとつとして、平成20年度から21年度までの5回にわたり当館で開催した、利用者による発表会「図書館まなびトーク」の実践報告と、発表会の内容を掲載した「学人〔まなびと〕ニュース」をまとめ、併せて、事業の進め方や留意点など掲載し、まとめた実践資料集です。

最後になりましたが、「図書館まなびトーク」で発表された皆様に対し、厚く御礼申し上げますとともに、各公立図書館運営の参考資料として本冊子を御活用いただければ幸いです。

平成22年11月

千葉県立西部図書館長

篠原 やす子

目 次

*はじめに

*目次

【実践報告】

「図書館まなびトーク」～図書館を利用して行った生涯学習の発表会～

1	千葉県立西部図書館について	1
2	「図書館まなびトーク」の概要	1
3	「図書館まなびトーク」の構成	2
3-1	発表者募集	
3-2	当日のプログラム	
3-3	ワンポイント図書館活用講座	
3-4	「学人ニュース」の発行	
4	実施内容	5
5	「図書館まなびトーク」の効果	7
	【実践マニュアル】「図書館まなびトーク」を開催するには	8

*資料編

学人ニュース

ワンポイント図書館活用講座配信資料

【実践報告】「図書館まなびトーク」

～図書館を利用して行った生涯学習の発表会～

1 千葉県立西部図書館について

千葉県には、千葉県立中央図書館、千葉県立西部図書館、千葉県立東部図書館と、3つの県立図書館があります。県内を3つの地域（エリア）に分け、各館がエリア内の県民の調査研究に資する直接サービスと、エリア内の市町村立図書館等を支援する間接サービスとを行い、全体として3館が連携して県民への図書館サービスを提供しています。



当館は千葉県立図書館の2館目として、昭和62年、県北西部に位置する松戸市に開館しました。以降、自然科学・技術・工学分野の参考図書・専門図書等を優先的に収集し、併せて、県民の調査研究図書館として活動をしています。

2 「図書館まなびトーク」の概要

「図書館まなびトーク」とは、「図書館を利用して行った生涯学習の発表会」の通称で、当館を利用して、日頃調べものや調査・研究をされている利用者に、その成果と学習体験を発表していただくという企画です。

「図書館まなびトーク」という名称は、図書館で学ぶ人たち（学人＝まなびと）の学習体験の発表、交流（＝トーク）の場として、また、日常の生涯学習の場として図書館をもっと活用していただきたいということで名づけました。

この事業のきっかけは、当館に隣接する松戸市の文化会館の会議室で読書交遊会を開催しているという利用者の話でした。その会では、会員それぞれが調べるテーマを決め、当館で読んだ本や調べたことについて、月1回の定例会で発表し、意見交換を実施していました。当館では、以前から、図書館を利用して生涯学習をしている方に、学んだことを発表する場を提供し、「知の拠点施設」となるような事業を検討していたこともあり、平成20年の秋にこの企画が生まれました。

事業を始めるに当たっては次の5項目を目標としました。

① 図書館の活性化

図書館は生涯学習の拠点として、資料・情報の提供やレファレンスサービスなど、利用者サービスに努めているところであるが、「図書館＝貸出し」という一般的なイメージから脱却し、図書館が多様な活動やサービスを行っていることを、事業を通してPRする。

② 利用者とのコミュニケーションの深化

従来は、図書館から利用者へ一方向の資料・情報提供が中心だったが、利用者から図書館へ、図書館を活用した成果の情報を提供してもらうことにより、図書館と利用者との双方向のコミュニケーションを深める。

③ 団塊の世代の「生きがい」への貢献

団塊世代の退職後の生活における生涯学習のきっかけとなるよう、シニア世代の「生きがい」への貢献を目指す。

④ 図書館運営の評価

利用者が図書館を活用した成果を発表という形式で具体的に捉える。

⑤ モデル事例づくり

他の図書館のモデル事例として取り組む。

3 「図書館まなびトーク」の構成

事業のおおまかな流れは次のとおりです。

発表者募集：館内掲示、チラシ配布、図書館ホームページに掲載



参加者募集：発表者とテーマを広報し参加者を募る
近隣の図書館、文化施設にもポスター、チラシを配布



「図書館まなびトーク」開催



「学人ニュース」の発行：発表の記録を発行、ホームページに掲載、県内図書館・関連施設に配布

3-1 発表者募集

「図書館まなびトーク」の趣旨に沿うよう、「発表者は西部図書館の利用者であること」、「西部図書館を利用して行った学習体験（生涯学習）の発表であること」を条件とし、図書館の利用者に広報して発表希望者を募りました。

募集要件

発表内容：西部図書館を利用して行った学習体験

募集1～2組

申し込み時にA4判1～2ページ程度で発表要旨を提出

発表の概要（60字程度で）

参考文献（西部図書館、あるいは県立図書館の資料）

締切は、発表予定月の前月末日午後4時

発表時間は30分程度

発表希望者が多数の場合は先着順

発表の概要は、開催お知らせ・参加者募集チラシに掲載するためのものです。発表要旨（A4判1～2ページ程度）については、当日参加者に印刷物を配布するほか、後日「学人ニュース」に掲載しました。発表時間は、当初第1回目は1時間としましたが、プログラム構成上の都合から第2回目からは30分程度としました。発表者の決定は、あくまでも学習体験の発表の場であることから、図書館が内容により適否を決めるのではなく、先着順としましたが、かなり専門的ともいえる内容の応募もありました。

3-2 当日のプログラム

当日のプログラムは次のとおりです。発表の後には、発表者と「ワンポイント図書館活用講座」（図書館員による当日発表関連の資料や調べ方を紹介する講座）に対する参加者からの質問を受け付けたところ、毎回多くの質問や感想の発言がありました。

当日のプログラム

- ①発表（利用者）：学習体験の発表
- ②ワンポイント図書館活用講座（図書館職員）：資料や調べ方の紹介
- ③質疑応答（全体）：質問タイム
- ④情報交換と図書館トーク（全体）：フリーディスカッション

当日配布資料

- ・発表者から提出された発表要旨
- ・「ワンポイント図書館活用講座」説明用の資料リスト
- ・アンケート用紙

※その他 発表者が準備した資料、ワンポイント図書館活用講座関連の図書館資料を会場に展示

3-3 ワンポイント図書館活用講座

当館では、以前から、「図書館活用講座」として利用者を対象に本の探し方やデータベースを使った情報の探し方などの講習会を行ってきました。この活用講座の内容を一部見直し、図書館まなびトークのプログラムに盛り込むことにしました。

内容は、発表に合わせたテーマについて、レファレンスブックやインターネットを使った調べ方を図書館職員が解説するミニ講座としました。また、関連資料についてのリストを配布し、関連資料の展示も行いました。

3-4 「学人ニュース」の発行

「図書館まなびトーク」での発表内容は、後日「学人ニュース」（A4判4ページ）として発行し、印刷配布、ホームページへの掲載を行いました。ニュースには発表者から提出され、発表会当日に参加者に配布した発表要旨と、ワンポイント図書館活用講座の内容と関連資料リストや情報交換での話題を記録しました。ニュースは発表者、参加者、図書館それぞれにとって、成果を形として残すことができ、また「図書館まなびトーク」事業のPRにもなっています。

4 実施内容

これまで、平成21年3月、5月、7月、10月及び平成22年2月の5回開催しました。以下は、発表会の主な実施内容です。

第1回目プログラム（平成21年3月18日開催）：参加者数 47名

▶発表1

湯沢 幾男さん 「日本の風土を考える ～二つの風土論から学んだこと～」

▶発表2

阿部 幸次さん 「樺太アイヌの歴史と山辺安之助の『あいぬ物語』」

▶質疑応答、情報交換

※初回は図書館利用者だけでなく図書館関係者にも開催チラシを配り、意見や感想をいただきました。

第2回目プログラム（平成21年5月22日開催）：参加者数 24名

▶発表1

細井 滋さん 「良寛和尚の足跡」

▶ワンポイント図書館活用講座1

「良寛の自画像を探す」（美術作品に関する参考図書の紹介、関連資料リストの配布及び資料展示）

▶発表2

岡戸 大国さん 「無害な核エネルギーと中央アジアの資源大国カザフスタンの将来展望」

▶ワンポイント図書館活用講座2

「カザフスタンについての資料を探す」（外国について調べる方法の紹介、関連資料リストの配布及び資料展示）

▶質疑応答、情報交換

※2回目からワンポイント図書館活用講座の時間を設けました。

第3回目プログラム（平成21年7月24日開催）：参加者数 37名

▶入館者500万人達成記念「西部図書館のあゆみ」

▶発表 1

末満 宗治さん「無いものを図書館で探す」

▶発表 2

三沢 博志さん「調べることはおもしろい…～自然誌関係文献目録編集の経験から～」

▶ワンポイント図書館活用講座

「千葉県の地図を探す」（千葉県の地図の探し方、利用が多い地図の紹介及びインターネット上の地図情報紹介、関連資料展示）

▶質疑応答、情報交換

※第3回目は入館者500万人達成記念イベントの一環として開催し、はじめに当館職員がこれまでの当館のあゆみを紹介しました。

第4回目プログラム（平成21年10月30日開催）：参加者数 31名

▶発表 1

佐久間 直次さん「豊富な史料を利用して学習～天文と古代人の関わり～」

▶発表 2

中條 藏實さん「図書館を書斎に！ 読書会100回余とポストモダン」

▶ワンポイント図書館活用講座

「暦について調べる」（暦について調べるための参考図書をQ&A形式で紹介、関連資料展示）

▶質疑応答

▶情報交換と図書館トーク

第5回目プログラム（平成22年2月26日開催）：参加者数 21名

▶発表 1

岩渕 梧郎さん「ホーキングの「時間順序仮説」を読んで考えさせられるもの」

▶発表 2

石橋 勲さん「“自分なりの図書館利用法”－新聞・雑誌を読む－」

▶ワンポイント図書館活用講座

「新聞・雑誌で調べる」（新聞・雑誌記事を調べる方法の紹介、関連資料展示）

▶質疑応答

▶情報交換と図書館トーク

5 「図書館まなびトーク」の効果

この事業を実施したことにより、次のような効果がありました。

① 参加者アンケートに見る効果

参加者アンケートの意見・感想からは、図書館サービスのPRになった、利用者の生涯学習や研究活動を促進したという効果がうかがえました。

② 図書館活用講座の効果

ワンポイント図書館活用講座を盛り込んだことで、テーマを絞ったより具体的な調べ方の紹介ができ、これまで県立図書館のレファレンスサービス（調査相談）を利用したことがない方に、レファレンスサービスのPRができました。

③ 学人ニュースによる効果

事業の記録を「学人ニュース」として発行したことで、発表者の学習成果を図書館資料として残すことができました。また、ニュースが、参加していない利用者や他の図書館にも事業を知ってもらうための広報媒体の役割も果たしました。

④ 団塊の世代の「生きがい」への貢献

当初のねらいとしたとおり、団塊の世代への活動の場を提供することができました。参加者の7割以上は60歳以上（アンケート回答による）、また、発表者の大半が同年代であったことから、この世代の関心の高さを感じました。

参加者からは、「発表を聞いたことがきっかけになって、次の生涯学習のテーマに発展した。」という感想や、発表者からも、「発表が張り合いになった。」という感想をいただきました。また、参加者から発表者への感想文が送られたこともありました。

【実践マニュアル】

「図書館まなびトーク」を開催するには

図書館で学ぶ人たちが、その体験談を発表する場（西部図書館では「図書館まなびトーク」と名づけた。）を企画する場合の参考としていただけるよう、事業を行うにあたっての進め方や留意点をまとめました。

1 企画・立案

○ 開催要項の作成

- ①趣旨（目的を明確にすると、対象となる発表者・参加者の条件やプログラムの構成が検討しやすくなります）
- ②日時
- ③場所
- ④発表者（発表者の条件、発表要旨の提出方法、発表時間）
- ⑤参加者（参加者の条件）
- ⑥広報（発表者・参加者の募集方法）
- ⑦記録（記録の方法や開催後の報告の発行）
- ⑧運営（運営体制や担当者）
- ⑨日程（プログラムの構成と時間配分）

○ 名称・キャッチフレーズの決定

利用者に事業の存在が浸透するように、親しみやすく、覚えやすい名称やキャッチフレーズをつけることがポイントです。

2 発表者の募集

○ 発表者募集の実施

ポスターやチラシを作成し、館内掲示やホームページへの掲載により、発表者を募集します。ただし、事業が浸透するまでは、このような方法だけでは、発表者を集めるのはなかなか難しいと思われます。初めのうちは、レファレンスサービスをよく利用している利用者の方などに声をかけてみるとよいかもしれません。また、日頃から

刊行物を寄贈してくださる地元の歴史研究団体や読書会を行っているグループなどには、所属会員の中に図書館の利用者がいらっしゃる場合がありますので、そのような団体に声掛けしてみるのも有効です。

回を重ねるうちに、聴講した参加者や記録（報告）を読んだ利用者の中から、自分も発表してみたいという方が出てくる場合もあります。

発表の応募用紙は、あらかじめテーマや発表の概要を記載してもらうように作成し、参加者の募集用ポスターなどに掲載します。 《「資料1」参照》

3 開催準備

○ 発表者との打合せ

当日の流れや発表の持ち時間をお知らせします。配布資料となる発表要旨を事前に提出してもらうため、締め切りの日を伝えます。発表者によっては、ホワイトボードや OHP、パワーポイントなどを使用したいという場合がありますので、使用機器も打ち合わせておきます。また、発表要旨や当日の発表風景を撮った写真は、記録（報告）に掲載するため、発表者に事前にその許可を得ておきます。

○ 参加者の募集

発表者やテーマが決まったら、ポスターやチラシの作成、ホームページへの掲載を行い、参加者を募集します。 《「資料2」参照》

○ 当日の進行表と役割分担表の作成

当日の進行がスムーズに行えるよう、予め進行手順と役割分担を決めておきます。

○ 配布資料などの準備

発表者が作成した配布資料を印刷します。また、当日回収するアンケートも作成します。資料展示や図書館活用講座を行う場合には、その準備も行います。

4 開催

○ 当日の注意点

座席の配置は、会議形式などにして、お互いの顔が見えるようにすると、会場の雰囲気も打ち解け、質問の時間や情報交換の時間に、たくさんの意見をいただけます。

<発表会までの主なスケジュール（「図書館まなびトーク」での例>

3 か月前までに	開催日の決定	当日（午後）
3 か月前には	発表者の募集開始	1 時 1 0 分 開場、館内放送
1 か月前には	発表者の締め切り、決定	1 時 3 0 分 開会、挨拶、図書館概要紹介
4 週間前までに	参加者の募集開始	1 時 3 5 分 発表 1
	発表者から配布資料提供	2 時 1 5 分 休憩
		2 時 2 5 分 発表 2
前日までに	資料印刷・会場準備	2 時 5 5 分 ワンポイント図書館活用講座
	発表者との打ち合わせ	3 時 1 0 分 質疑応答、情報交換
		3 時 5 0 分 閉会

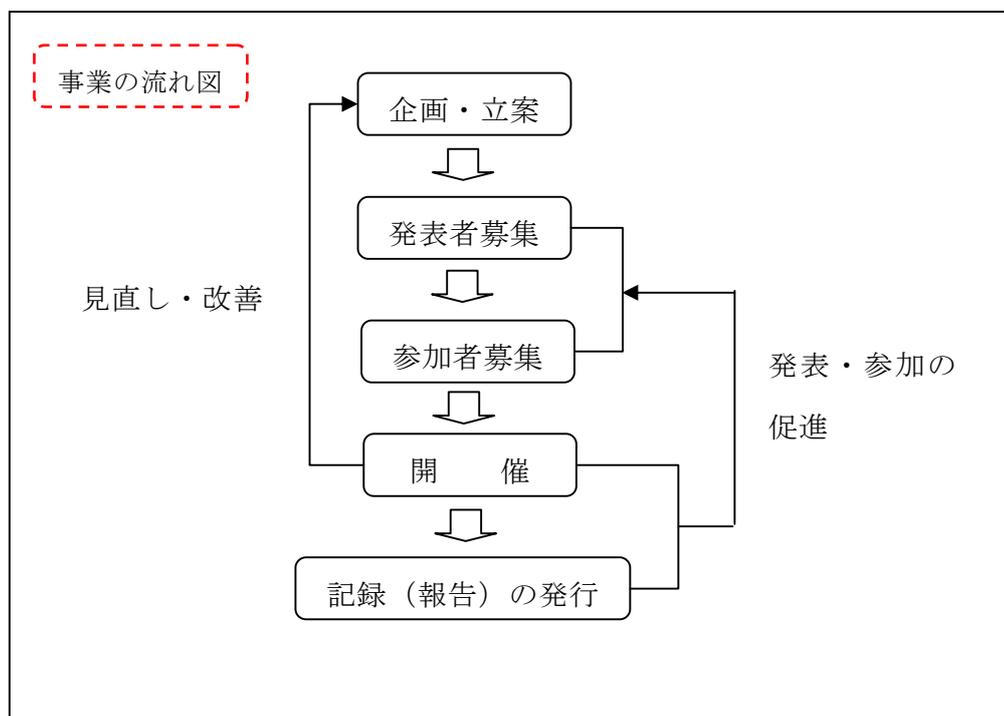
5 まとめ

○ 記録（報告）の発行

開催内容の報告をまとめたニュースを発行すると、記録として保存することができます。また、次の発表者や参加者を募集するための PR にもなります。

○ アンケート結果の分析

アンケートでの意見は、次回に開催する際の参考にして、発表会（事業）がより充実したものとなるように取り入れていきます。



まなびと 学人 MANABITO

図書館まなびトーク

図書館を利用して行った生涯学習の発表会

日時

平成〇〇年〇月〇日 (〇)

午後〇時〇〇分から

場所

〇〇図書館研修室

どなたでも発表できます

発表会当日は図書館職員による「ワンポイント図書館活用ミニ講座」も行います。

あなたも、

図書館で学習した体験を、発表してみませんか。

〇〇図書館では、当館を利用して生涯学習を行っている個人やグループで、その学習体験を発表してくださる方を募集しています。

発表時間は 30 分程度。事前に A4 判 1~2 ページの発表要旨を作ってください。締切り〇月〇〇日(〇)。

発表ご希望の方が多数の場合には、先着順とさせていただきます。

詳しくは [こちらへ](#)



ホームページもご覧ください

申し込み・問い合わせ先

〇〇〇〇図書館

〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇〇-0

TEL 000-000-0000

<http://www.library.aaa.jp/>

図書館を利用して行った生涯学習の発表会

発表応募用紙

年 月 日

氏名		資料貸出券番号	
発表のテーマ			
発表の概要（60字程度にまとめてください。）			
参考文献（お使いになった〇〇図書館の資料）			
発表時間	（ ）分		

【お願い】

この用紙とともに、発表要旨をA4判（横書き40字×35行）1～2ページにまとめ、提出してください。

応募の内容に変更が生じた場合には、速やかに連絡してください。

図書館での記録のため、写真撮影と録音を行い、後日、発表内容を「学人ニュース」や館報「West Library」などの広報媒体で紹介しますので、ご了承ください。

図書館 まなびトーク

図書館を利用して行った生涯学習の発表会

日時

平成〇〇年〇月〇〇日 (〇)

午後〇時〇〇分～〇時〇〇分

場所

〇〇図書館研修室 (募集人数〇〇名)

どなたでもお聴きになれます
ご来館または電話でお申し込みください
(ご希望の方が多数の場合には、お断りする場合があります)
ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください

今回の発表者・学人 (まなびと)

〇〇 〇〇さん

(発表のテーマ・発表の概要)

〇〇 〇〇さん

(発表のテーマ・発表の概要)

発表会当日は図書館職員による「ワンポイント図書館活用ミニ講座」も行います

申し込み・問い合わせ先 〇〇〇〇図書館
〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇〇-0
TEL 000-000-0000

～「まなびトーク」へようこそ！～

まなびトークってどんなもの？

前回〇月に開催いたしました「まなびトーク」参加者のみなさまからお寄せいただいたご感想をご紹介します。

▼参加者の声

◎アンケートのコメントを掲載

(〇〇市 〇〇歳)

◎

(〇〇市 〇〇歳)

発表者の方々

写真

発表テーマ

〇〇 〇〇さん

写真

発表テーマ

〇〇 〇〇さん

参加者のみなさん



* 資料編

○ 学人ニュース

- ・ 2009年3月発行
- ・ 2009年6月発行
- ・ 2009年8月発行
- ・ 2009年11月発行
- ・ 2010年3月発行

○ ワンポイント図書館活用講座配布資料



2009年3月

図書館 まなびトーク

学人ニュース

図書館を利用して行った生涯学習の発表会

「知ること」のよろこび

図書館 まなびトーク

平成21年3月18日(水)午後2時から当館研修室において、松戸市の湯沢幾男さんが「日本の「風土」を考える～二つの「風土論」から学んだこと～」、柏市の阿部幸次さんが「樺太アイヌの歴史と山辺安之助の『あいぬ物語』」について発表してくださいました。(要旨は次ページ以降)

当館は、開館以来地域に根ざした活動を展開してきましたが、昨年度に20周年を迎えたのを機に、県民にもっと図書館活動の意義を広く知ってもらい、利用者と図書館のコミュニケーションの拡大を図る方策を模索してきました。

また、団塊の世代や既にリタイヤされた方の退職後の生き方や「生きがい」が新聞や雑誌等で話題になっておりますが、図書館としても何かお手伝いすることができるのではないかと考えてきました。

そこで、日頃図書館を利用して生涯学習を行っている個人やグループの方に、学習成果について発表していただく機会を提供しようと、去る2月14日(土)締切で発表者を募集していたところ、好意的な反響が多数寄せられ、最終的には湯沢さんと阿部さんのお二人が応募してくださいました。

当日は晴天に恵まれ、約50名の方が参加され、それぞれ約1時間にわたるお二人の発表に熱心に耳を傾けておられました。

コアラテレビで放映されました

「図書館 まなびトーク」の様子は、地元ケーブルテレビの「コアラテレビ」で、3月19日(土)夕方のデイリー・ニュースで放映されました。

産経新聞でも紹介されました

3月19日付けの「産経新聞 千葉版」に掲載されました。



参加者の声

日頃の研鑽の成果を発表されており、楽しく聴講させていただきました。古代から現代に至る人や言語の移動・発達史に興味があり、将来は発表できるようにしたいと思います。(野田市 66歳)

とても楽しい企画でした。図書館で調べても発表の場がないなど、成果が見えてこないということもありましたが、はげみになると思います。研究発表・成果だけではなく、調べる過程の発表もあってよいのかなと思いました。(船橋市 61歳)

発表を聞いて興味がわいてきました。各々のテーマについて図書館の本を探してみたいと思いました。(松戸市 50代)

各人が自分に興味のある題目で調べて感じたことを発表することは、発表者にとっても非常に充実した行為であろうと信じる。是非継続してほしい。(松戸市 65歳)

日本の「風土」を考える ～二つの「風土論」から学んだこと～

湯沢幾男



はじめに

- * 100回を迎える「読書交遊会」のこと
- * 松戸暮らしと「地域」
- * 信州田舎暮らしと「集落」
- * 「風土」とのかかわり

昭和初期と二つの風土論

<三澤風土論> 1929年 昭和4年10月24日木曜日。世界の株式市場を取り仕切るアメリカウォール街の株価が大暴落。世界経済は恐慌に陥り、輸出の大部分を担う日本の生糸相場を底無しに直撃。地方銀行の倒産が続出するなど不況は全産業におよび、失業者が巷にあふれた。不況の波は農村を襲い、加えて昭和6年の東北・北海道の米の大凶作により農村の疲弊は深刻な様相を呈す。農家の負債は、農業総生産の2倍に当たる総額46億円にもなった。

三澤勝衛（1885～1937）は農家の長男として長野県更級郡更府村（現長野市更信町）に生まれる。尋常小学校卒で農業を継ぎ勉学に励む。農業と教員の両立を条件に父親を説得し、更府村の代用教員になる。1915（大正4）年検定試験に合格。師範学校・中学校・高等女学校地理科の免許取得。1920（大正9）年諏訪中学（現諏訪清陵高校）教諭になり、1937（昭和12）年52歳で病没するまで17年間地理を教える。生徒に「自分力」を見つけ出させる教育で門下生から数多くの科学者を輩出した。三澤は、昭和初期の農村恐慌下で、地べたを這うがごとき「野外凝視」により独自の風土論を確立。その成果を諏訪中学の地理教育にとどめず、各地の農村青年講習会で自然力による更生を説いてまわった。その内容が本書『風土産業』である。

<和辻風土論> 1928年 昭和3年8月。西田幾多郎が京都帝大を定年退職する。京都学派の哲学形成は、1910（明治43）年8月に西田の京都帝大助教授就任からはじまる。西田の招きにより、田辺元（1885～1962）、和辻哲郎（1889～1960）、九鬼周造（1888～1941）が京都帝大哲学科に赴く。西田を慕って京都帝大哲学科に入学した門下生からも天野貞祐、務台理作、三木清、高坂正顕、西谷啓治、戸坂潤、唐木順三など多数の著名哲学者を送り出す。西田を頂点に京都学派と呼ばれる日本の哲学の大山脈を形成する。和辻哲郎は1927（昭和2）年2月に文部省在外研究員としてヨーロッパに出発。船の中で京

都帝大農学部の大槻正男教授から「ヨーロッパには雑草がない」という驚くべき事実を教えられる。これは啓示に近いものだったと、和辻は書いている（本書は昭和3年9月から4年2月に至る京都帝大での倫理学講義の草案を基礎にして書かれた）。*さて、われら昭和ヒトケタ世代の役割は？

三澤勝衛の風土論

1 風土とは何か 「風土 大自然である。/大地の表面と大気と底面との接触からなる一大合体である。/この風土に正しく生きることによってのみ、初めて真にその風土が活かし得るのである。」「大気と大地がふれあっているところになりたつ「もはや大気でも大地でもない、気候でも土質でもない独立した接触面」が風土。この接触面 風土の特徴が「地域の個性」「地域力」の源泉。

2 野外の凝視 「草も語る、木もかたる、/いな草木鳥獣みな語る、/大自然の持つその真相を。/しかしわれらは淋しい、/その言葉のどれだけが、/今のわれらに分かっているか。/自然への愛着と、親しみ/これこそ真の唯一の鍵だ。/われらは聴こう、野に立って、/その自然が物語るを。」「教育は教えるものではなく学ばせるのだ。何をおいても、まず野外に立ち、その野外を凝視することがもっとも大事な作業である、と。

3 風土産業 風土はそれぞれの土地に固有のものであり、また畑、屋敷、集落というように複層的に存在する。気温、雨、通風など風土は無価格ながら偉大な価値をもっており、それを発見し、活かすことで地域にねざした自然エネルギーを取りこんだ循環型の産業をつくることのできる。これは、地域の暮らしや景観、地域への共感、愛着などの生活全般につながる「風土生活」論でもある。

和辻哲郎の風土論 三つの類型

日本から出発して太陽と同じに東から西へ地球を回っていくと、初めにモンスーン地域の烈しい「湿潤」を体験する。この湿潤は、「モンスーン型」の文化類型を己に形成する。沙漠地域では、徹底的な湿潤の否定「乾燥」を体験する。この乾燥も沙漠地域の人間の体験であり、「沙漠型」文化類型となつてあらわれる。ヨーロッパに至ればもはや湿潤でも乾燥でもなく、湿潤であるとともに乾燥なのだ。夏が乾燥期だから、牧草のような柔らかい冬草を駆逐する雑草がはびこらない。人力を加えなくても一年中牧場として役立つ。「牧場型」文化類型。

1 **モンスーン型 日本の例** モンスーンは季節風。夏は熱帯の大洋から陸に吹く風。モンスーン地域の風土は暑熱と湿気との結合を特性とする。その水は「台風」という突発的な猛烈さにおいて世界に比類なきかたちをとる。冬の積雪量においても世界にまれな大雪になる。大雨と大雪、それは熱帯的、寒帯的の二重性格になる。植物には、夏の熱帯的の稲と夏草、冬は麦と冬草。豊富な湿気が人間に食物を恵むとともに暴風や洪水として人間をおびやかす。人間に受容的、忍従的な二重性格をもたらす。

2 **沙漠型 アラビアの例** 強い日照にもかかわらず雨は年に4-5回。乾燥の生活は「渴き」である。外なる自然は死の脅威をもって人に迫るのみ。自然の脅威と戦いつつ、沙漠の宝玉なる草地や泉を求めて歩く。これらは、人間の団体の争いの種ともなる。自然に対して人間の団体に対して、二重の意味で、対抗的・戦闘的である。

3 **牧場型 ギリシアの例** 地中海は乾いた海。この海の蒸発では夏の空気を潤すことはできない。だが、ギリシアの気候に四季はある。3月に春がはじまり6月までつづく。6月半ばから9月半ばまで雨が降らず暑い夏になる。9月にさわやかな雨がきて

草が緑になる。11月から3月までは雨期で牧草や麦が青々と育つ。自然に忍従して恵みを待つ必要はない。自然に対抗して戦闘的態度を取らなければならないほど人を脅かしもしない。自然はひとたび人力の支配のもとにおけば、適度の看護によって、いつまでも従順に人間に服従している。この自然の従順が生産を牧場的にする。人間が従順な自然への支配を自覚し自然の支配者として己れの生活を形成した。ギリシアの自然との調和は、自然の人間化、人間中心的立場の創設であった。

おわりに 暮らしやすい地域の形成をめざして
地域の生活価値+環境価値+文化価値

参考文献

『風土産業』三澤勝衛著 古今書院 1952年11月初版 県中央図

(三澤勝衛著作集3『風土論』みすず書房 1979年6月初版 県中央図)

『風土 人間学的考察』和辻哲郎著 岩波書店 1935年9月初版 県西部図

樺太アイヌの歴史と山辺安之助の『あいぬ物語』

阿部幸次



はじめに

私はスペイン・ポルトガル・ブラジル文学の翻訳家で、これまでペレス・ガルドス『マリアネラ』、ジョルジェ・アマード『砂の戦士たち』、フェレイラ・デ・カストロ『大密林』(いずれも彩流社刊)などの文学作品を翻訳

しました。一方、北海道に1984年から3回通算10年の居住経験があり、89年にサハリンに旅行し、その見聞を『北海道・サハリンの旅』として自費出版しました。また、3年前からアイヌ語を学んでいます。そんなことから、樺太アイヌの歴史について興味を持ち、図書館の資料を使って調べました。今回は、樺太千島交換条約に伴う北海道移住から、日露戦争後の帰還までの樺太アイヌの歴史を概観し、併せて樺太アイヌである山辺安之助が自らの移住体験をアイヌ語でつづった『あいぬ物語』を紹介したいと思います。

移住前の樺太アイヌをめぐる状況

樺太アイヌは主に北緯50度線以南の南樺太に住居し、漁労・採集を生業としていましたが、19世

紀初頭からの日本の漁業家の進出に伴い、その多くは漁場に雇われ、食料など生活物資を漁業家に依存する生活を送っていました。伊達・栖原の両家が経営する漁場の数は明治初年に57か所、建物は352棟を数え、労働者の大半は樺太アイヌだったようです。なお、樺太アイヌの北側には、ウイльта、ニブフの北方民族がおり、ウイльтаはトナカイ飼育、ニブフはアザラシ猟とさけ・ます漁を主な生業としています。

1873年当時の人口調査があり、当時の南樺太に住んでいたのは、和人が出稼ぎも含め557人、アイヌなど先住民族が2372人、ロシア人が士官兵卒を中心に農民、流刑者ら1110人です。

樺太千島交換条約と樺太アイヌの北海道移住

樺太千島交換条約は1875年(明治8年)5月7日にペテルブルグで調印されましたが、当初は国民に知らされず、国内の報道が許されたのは10月15日でした。条約では、住民の残留と移住の自由が認められていました。ただし、日本人が残留を望む場合は日本国籍のまま残留できるが、先住民で日本国籍を望む者は移住し、残留する者はロシア国籍になると決められていました。

樺太アイヌの北海道移住について、強制移住という言い方がされていますが、選択の自由はありました。また、開拓使も積極的に移住を奨励したわけではなかったようです。実際に移住に応じたのは、約2400人のうち、841人で大半がアニワ湾沿岸の住民でした。一方、西海岸の住民で移住に応じた者は少なかったようです。住民が移住を選んだ理由としては、まず日本人漁業者との結びつきがあげられます。漁場がなくなれば、生活基盤がなくなります。また、漁業者が供給していた米食への魅力もあったようです。

移住は9月9日から10月1日にかけて行われ、住民はまず宗谷地方の12か所に移住しました。ちなみに当時宗谷地区にいたアイヌは256人で、樺太アイヌの移住に危機感を持ち、石狩移住を開拓使に働きかけたようです。開拓使はもともと彼らを石狩に移住させるつもりで、土地を用意していました。そうして翌年7月、宗谷にいた樺太アイヌ全員を、小樽を経由して、石狩川に面した江別市近郊の対雁に移しました。

開拓使は彼らを農業に従事させる意向でしたが、もともと漁労が生業のため、反対が強く、石狩、厚田の7か所に鮭と鱈の漁場を用意しました。一方で、一戸当たり500坪から1000坪の土地を与えて耕作させましたが、不慣れなため、成果は上がりませんでした。それで男たちはもっぱら漁場に出稼ぎしました。女たちは製網と養蚕、製糸を学びました。子供たちには教育所が設けられました。1882年(明治15年)に開拓使が廃止されると、共救組合を結成し、自ら漁場の運営や学校の維持、民生に当たりました。

そうしたとき、流行したのがコレラと天然痘で、1886年(明治19年)夏から翌年春にかけて大流行し、2年間で358人が亡くなりました。この2年間では、北海道全体でも4400人余りが亡くなっていますが、対雁で住民の半数近くが亡くなったのは、密集して住んでいたのが原因の一つのようです。

このあと、対雁の住民の大半は漁場のある石狩の来札に移り、対雁は廃村のようになりました。また、一部の住民は墓参目的や再開された漁場で働くため樺太に帰還し、1905年(明治38年)日露戦争が終わった時には、樺太アイヌは北海道に217人しか残っていなかったといえます。その彼らも大半は翌年秋までに樺太に帰還しましたが、樺太帰還後の生活は、指定集落と呼ばれる一定区域に居住させられ、兵役、納税の義務も課されて生活は窮屈だったようです。1908年(明治41年)の人口調査では樺太アイヌの人口は1597人。帰還者のため、

1904年のロシア領当時の調査より200人余り増えています。その後昭和16年には1272人まで減少しました。

山辺安之助と『あいぬ物語』

樺太アイヌの山辺安之助(1867-1923)はアニワ湾に面した野満別の村に生まれ、9歳の時、対雁に移住、教育を受け、漁場で働いていたが、明治26年、墓参名目で、妻子、知人ら12人とともにロシア領だった樺太に帰還、そのまま定住し、漁業に従事した。日露戦争が起きると、日本軍の案内役を務め、樺太での戦闘の勝利に貢献した。南樺太が日本領となつてからは、アイヌのために学校の設立や漁場の確保に奔走した。さらに、明治43年に南極探検が計画されると、樺太犬を率いて自ら参加した。

『あいぬ物語』は、南極探検を終えた1912年(大正元年)その波乱に富んだ半生を樺太アイヌ語で語り、金田一京助が筆録、翻訳したもので、アイヌ語として初の散文作品であるばかりでなく、樺太アイヌの歴史を語る第一級の史料となっている。

参考文献

『対雁の碑』樺太アイヌ研究会編 北海道出版企画センター 1992年 県中央図

『あいぬ物語』山辺安之助著(『アイヌ史資料集』第6巻所収 北海道出版企画センター 1980年) 県中央図

『樺太アイヌ叢書』千徳太郎治著(『アイヌ史資料集』第6巻所収 北海道出版企画センター 1980年) 県中央図

図書館から お礼

「図書館 まなびトーク」には、普段西部図書館を利用されている大勢の方においでいただき、誠にありがとうございました。今回の成果を踏まえて、より一層、皆さんの役に立つ図書館サービスに努めてまいりたいと思います。また、慶應義塾大学文学部の糸賀先生始め、奈良県立図書情報館様など、県内外の図書館関係者の方にも見ていただきました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

図書館 まなびトーク 学人(まなびと) ニュース

発行日：平成21年3月27日

編集：千葉県立西部図書館

〒270-2252

千葉県松戸市千駄堀 657-7

TEL 047-385-4133

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>



2009年6月

図書館 まなびトーク

学人ニュース

図書館を利用して行った生涯学習の発表会

ともに学びあう

図書館 まなびトーク

平成21年5月22日(金)午後1時30分から、当館研修室において今年度第1回目の図書館まなびトークを開催しました。

今回のまなびトークは、4月30日締切で発表者を募集したところ、細井滋さんと岡戸大国さんが応募してくださり、それぞれ「良寛和尚の足跡」、「無害な核エネルギーと中央アジアの資源大国カザフスタンの将来展望」のテーマで発表してくださいました。(発表要旨は次ページ以降をご覧ください。)

まなびトークは前回3月に続いて2回目の開催となります。今回は新たに、調べものに役立つ図書館のPRをかねて、ワンポイント図書館活用ミニ講座の時間を盛り込みました。

また参加者同士や、参加者と図書館が交流できるように、対面形式での情報交換の時間を設けました。

当日は、24名の方が参加され、お二人の発表に熱心に耳を傾けておられました。情報交換会では図書館の活用について参加者の皆様から貴重なご意見を多数いただきました。

次回は7月24日(金)に開催予定です。

「図書館 まなびトーク」とは…図書館で学ぶ人たち(学人=まなびと)の学習体験の発表、交流(=トーク)の場として、また日常の生涯学習の場として図書館をもっと活用していただきたいという思いから名づけました。(今後の開催予定: 7/24、10/30、2/26)

～プログラム紹介～

発表「良寛和尚の足跡」細井滋さん
ワンポイント図書館活用 1 当館職員
「良寛の自画像を調べる」
質疑応答

～ 休憩 ～

発表「無害な核エネルギーと中央アジアの資源大国カザフスタンの将来展望」岡戸大国さん
ワンポイント図書館活用 2 当館職員
「カザフスタンについて調べる」
質疑応答
情報交換



▼参加者の声

(アンケートのご意見から)

◎細井さんのお話では、今現在でも謎となっているという出家の理由について、とても興味深くうかがいました。歴史的な背景、また要所でのわかりやすい解説をうかがって、良寛和尚への興味がわきました。今後作品に触れてみたいと思います。その折にはきっと「かれい」のおはなしを思い出したいと思います。ワンポイント図書館活用では、それぞれのテーマにかかわって具体的な内容でお話いただいたので、とてもわかりやすく、いろいろな調べ方を知ることができました。
(市川市 47歳)

◎知らない分野の話聞き、参考になった。席の配置は顔が見える今回の方がよい(出席人数にもよると思いますが)
(市川市 61歳)

◎「ワンポイント図書館活用」はとてもよいと思いました。たとえば、良寛の漢詩の気になるところを漢詩・読みくだし、現代語訳を丹念にたどってみたいと思いました。
(松戸市 74歳)



良寛和尚の足跡

細井 ^{コウ} 滋

良寛和尚の生涯を、幼年時代、青年時代、五合庵時代、晩年と夫々に分けて、良寛和尚の遺された漢詩、和歌を交えて、話を進めてゆきます。

良寛（1758～1831）は今から凡そ二百五十年前に、新潟県三島郡出雲崎の名主兼石井神社の神官を努める、山本以南の長男として生まれました。山本家は代々の名主であったのです。

○ 幼年時代

幼名を栄蔵と言いました。幼い頃から莫迦正直で、ある日父親に叱られた時に栄蔵は、上目使いに父の怒った顔を眺めていたので、「親をにらむと鰈（かれい）になるぞ」と父親は冗談に驚かしたところ、それを真に受けて自分は本当に鰈になると信じて、海辺の岩に佇んでいたと言う逸話がありました。その為、当時の出雲崎の村人達は、普通と違った栄蔵の行動をあざ笑って「名主の昼行灯」と言う「あだな」をつけていたのです。

○ 少年時代～青年時代

栄蔵は十一、二歳の頃から漢学者、大森子陽（1738～1791）の狭川塾へ六年間通って、漢学を主とする基礎的な学問を身につけたのです。十六歳の時に元服して「文孝」と名乗りました。父の跡目をつぐ為に、名主見習役の職につきました。ある時、盗賊の処刑に名主見習役として立ち会ったのです。その時無常を覚えて、救世心に溢れたのかも知れません。十八歳の時、突然同じ出雲崎の村にあった、禅寺 光照寺に行き、玄乗破了和尚の許で剃髪し、出家しました。

光照寺で四年間修行した良寛（出家して後の名称）は二十二歳の時、光照寺を訪ねてきた国仙和尚（岡山県玉島の曹洞宗円通寺住職）の弟子となって、師のあとについて、はるばる岡山へ行き、円通寺で厳しい禅の修行に励んだのであります。円通寺で十二年に及ぶ修行の後、良寛が三十三歳の時に国仙和尚より禅宗の卒業証書に該当する「印可の偈」を受けました。ここまでに至る良寛の忍苦は並大抵のものでは無かったでしょうが、自らを語ることはありませんでした。

円通寺で修行を終えた良寛は、諸国行脚に出掛けました。旅の空で詠んだ和歌が残されています。

草枕 夜ごとに変わる宿りにも 結ぶは同じ
ふるさとの夢

良寛は三十八歳の時、越後へ戻ったと伝えられております。ここで振り返って見ますと、光照寺で出家してから二十年間、円通寺に赴いてから十六年間という永い年月が早くも流れ去っていたのであります。然し良寛は、この間の生活について殆ど何も語らず、当時に取材した詩歌も大体越後へ戻ってから書かれたように思われております。

○ 五合庵時代

越後に戻った良寛は、出雲崎の生家、橘屋の門前に暫く佇んだだけで、颯然と立ち去ったそうです。そしてそれ以来、出雲崎を中心とした空庵を転々としたあげく、国上の五合庵に入り、ここに初めて安住の場所を定めたのです。老杉に囲まれた五合庵は、国上山の中腹にあり、国上寺の住職の隠居部屋で、たった一間の茅葺きの四、五坪ほどの小庵でした。五合庵における生活は、権威もなく、名声も求めず、ひたすら無一物の清貧に甘んじる日々でした。その日に必要な食糧は、村に出て托鉢をして得たものを充てているだけでした。五合庵定住の頃の漢詩をご紹介します。

生涯営む所無く 騰々天真に任す 囊中三升の
米 炉辺一束の薪
首を回らせば五十有余年 人間の是非は一夢の
中 山房五月黄梅の雨 半夜蕭々虚窓にそそぐ

月よみの光を待ちてかへりませ山路は栗の毬の
多きに

良寛は五合庵に十数年間を過ごしましたが、六十歳の時、国上山の五合庵を出て山の麓にある乙子神社の草庵に移りました。この頃に良寛は、村の子供達と手毬をついたり、かくれんぼをしてあそびたのです。その折に詠まれた和歌です。

この里に手毬つきつ子供らと遊ぶ春日は暮れ
ずともよし

○ 晩年

乙子の草庵に移り住んでから十年になり、自

炊や薪作りに堪えきれなくなった良寛は、有力な支援者だった木村元右衛門のすすめで、その屋敷内の物置小屋を改造した庵室に移転しました。ここで晩年の良寛に、浄らかな愛のたかまりを見せた「貞心」という尼さんとの巡り逢いがありました。貞心尼は長岡藩士奥村五兵衛の娘で、関長温という医師に嫁いだが五年の後、夫と死別したので柏崎の洞雲寺で出家して「貞心」という尼僧になったそうです。良寛を敬慕して島崎の庵室を訪ねたのは、時に良寛七十歳、貞心尼二十九歳でした。仏道と和歌のご指導を仰ぎたいと良寛の弟子となりました。良寛が常に手毬に興じている様子を見て、貞心尼はこれぞこの仏の道に遊びつつ つくやつきせぬ実りなるらむと詠んだ返歌として良寛は、次のように詠みました。

つきてみよ ひふみよいむなやここのとを十とをさめてまたはじまるを

貞心尼は良寛の最期まで看とり「蓮の露」という歌集を作っております。良寛は、恩師の国仙和尚や曹洞宗の宗祖道玄の教えをよく守り、生涯寺を構えず、法を説かず、妻子も持たず、無欲に徹して清貧の思想を貫いた僧侶でした。

生涯に残された漢詩は六百余首、和歌は千二百余首、俳句は百首、書は凡そ二千点といわれております。

参考文献

- 良寛 吉野秀雄著 アートデイズ発行 (県立東部)
 良寛和尚の人と歌 吉野秀雄著 弥生書房発行 (県立西部)
 良寛全集 大島花束著 恒文社発行 (県立西部)

～ワンポイント図書館活用ミニ講座 Part1～

良寛の自画像を調べる・・・『日本美術作品レファレンス事典』を使って

『日本美術作品レファレンス事典』のシリーズには、「絵画篇」、「工芸篇」、「書跡篇」、「陶磁器篇」、「彫刻篇」などがあります。各篇とも、作品の図版が、どの美術全集に掲載されているかを調べることができます。『(同) 絵画篇近世以前』の巻末にある作者別索引で「良寛」を調べると、「いろは 一二三」と「読書 図自画讀」の図版が掲載されている美術全集がわかりました。また良寛には書作品も多数あるので、『(同) 書跡篇1 日本の書』で調べてみると、「自画像」が『定本書道全集 11』の図113に、「自画像賛」が『日本書蹟大鑑 24』の図14にのっていることがわかりました。県立図書館には所蔵していなかったのですが、県内の浦安市立中央図書館で所蔵していた『定本書道全集 11』を取り寄せてこの「自画像」といわれている画を見ることができました。
 * 『日本美術作品レファレンス事典 書跡篇1 日本の書』 昭和三十九年 西部参考 7021-38-8
 * 『日本美術作品レファレンス事典 絵画篇 近世以前』 昭和三十九年 西部参考 7021-38-3



世界における日本の使命（役割）

新松戸在 岡戸 天国
 昭和13年生れ

危険な原子力発電所にかかわって、害のない核エネルギー、トリウムによる塩融炉の設置による日本の将来像と、資源国カザフスタンについて。

略歴と実績

S46～50 杉並区議
 S57～61 松戸市議

小学1年

羽生市手子林小
 2 四谷第4小

新宿御苑トンネル開通、樹木を残す。
 麻生代議士を通じ、天野建設大臣に陳情。

大学卒業後、賀川豊彦財団、雲柱社主事。
 理事、河上丈太郎、小崎道雄ら。

中学・高校

早稲田実業中等部、高等部

S54 新松戸中央パークハウス（三菱地所）入居。

新松戸町会連合会創設。

〃 祭りをスタートさせる。

大学

明治学院大学 社会福祉

新明正道ゼミ、仲人（家永三郎の義父）

生協と基督教学生会会に所属。

森田県知事は後輩。同窓会は？

安岡正篤、矢次一夫、中村菊男らに指導受ける。
 趣味、読書。健康につき、90才まで現役を！
 家族、妻、長男医師、長女会社員。

父親 クリーニング業、遺言
「息子に投資したが見返りがなかった」

原子力発電所の3分の1型、送電線なし。
安全が地球環境にたいへんよい施設。

夢、茨城県大子町に先祖 楠木正勝の宮を！
出版 『わが町・わが県・わが国土』

☆カザフスタン
資源の国。中央アジアの開発が世界を豊かにし、日本を豊かにする。日本は資金国。クリントン国務長官、横田基地へ、2,500兆円を！
その資金は100年契約で、あと35年残っている。

☆原子力政策について
古川和男『原発革命』文春新書
トリウムによる核エネルギー、熔融塩炉
原爆（広島、長崎）唯一の被爆国。

～ワンポイント図書館活用ミニ講座 Part2～ カザフスタンについて調べる

まず、カザフスタンの位置や大きさ、なりたちなど、おおまかな概略を調べるときには事典を見ます。『最新世界各国要覧 11訂版』西部参考302-3、『世界年鑑 2008』西部参考059-1-08など。
また、県立東部図書館からのお取り寄せとなりますが、『地球の歩き方』のシリーズも広範囲の国をカバーしています。旅行に行くときだけではなく、地図や概略、写真もあって、その国の雰囲気わかる便利な資料です。
インターネット上にもたくさんの情報があります。外国について調べるときには、大使館や外務省のページがあります。
本以外の調べかたでは、新聞で最新情報をチェックすることもできます。西部図書館で、無料で利用できる新聞記事データベースには、朝日新聞の「聞蔵Ⅱ」と日本経済新聞の「日経テレコン21」があります。
*このほかの県立図書館所蔵資料についてはリストをご覧ください。



関連資料の展示
(カウンター前)

情報交換

～貴重なご意見を多数いただき、ありがとうございました。発言の一部をご紹介します。～

- ・社会科学系等の新刊の資料が少ないことについて。県立3館で分担収集しているため少ない。今後は展示特集等での提供も検討したい。(図書館)
- ・中央・東部の本でもリクエストすれば2日くらいで届くので、複本購入ではなく、きめ細かい収集をしてほしい。
- ・雑誌は貸出し不可だが、中央・東部しかない本で、雑誌だと利用しづらいので貸出し範囲を広げてほしい。
- ・自分で作った原稿を図書館でもコピーできるようにしてほしい。
- ・図書館のコピー機は図書館資料のコピーをするため設置している。(図書館)
- ・県立では雑誌の貸出しが禁止のため、バックナンバーが欠号なく保存されているのがありがたい。
- ・このように図書館が主体となって、利用者と対話をしつつすすめていくというすばらしいことは、他の図書館でも行っているのか。女性の職員がいつも丁寧でやさしく対応していることを感じる。
- ・県立西部にきて社会人席があることに驚いた。社会人をひとつのグループとして認めているのは、かなり配慮しているのであろう。
- ・中年の人が会社人間、仕事人間から脱して、一般市民、一人の人としての活動をする時間をもつ契機になる、というところに、図書館がいきつければよいのではないか。社会の中核を担っている人たちにこそ、まなびトークのような場が必要なのではないか。
- ・仕事を持っている世代には難しい。自分も退職してからこうした活動をする気分になった。
- ・利用者が自分たちのグループを作って図書館を使って発表することは革命的である。地域の方たちが自立するひとつの施設として図書館をとらえると、自分のテーマを自分で解決するというような図書館を担いたい。今後は楽しみ。



まなびトークの記録

2009年3月18日開催

湯沢 幾男さん 「日本の風土を考える ～二つの風土論から学んだこと」

阿部 幸次さん 「樺太アイヌの歴史と山辺安之助の『あいぬ物語』」

図書館 まなびトーク 学人(まなびと) ニュース

発行日：平成21年6月2日

編集：千葉県立西部図書館

〒270-2252 千葉県松戸市千駄堀 657-7 TEL 047-385-4133

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>



2009年8月

図書館 まなびトーク

学人ニュース

図書館を利用して行った生涯学習の発表会

発見と広がり

図書館 まなびトーク

千葉県立西部図書館では、今年6月13日に入館者500万人到達の節目を迎えましたことを記念して、7月24日（金）午後1時30分から、当館研修室において今年度第2回目（通算3回目）の図書館まなびトークを開催しました。

今回は、末満宗治さん、三沢博志さんお二人のご応募をいただき、それぞれ「無いものを図書館で探す」、「調べることはおもしろい・・・～自然誌関係文献目録編集の経験から～」のテーマで発表してくださいました。また、記念開催に関連して当館職員より、「西部図書館のあゆみ」紹介と、発表テーマに関連したワンポイント図書館活用ミニ講座を行いました。（発表要旨は次ページ以降をご覧ください。）

当日は、37名の方がお二人の学習体験の発表に熱心に聞き入り、参加者からは自分の今後の学習のためにとても勉強になったとのご感想が多数寄せられました。

次回は10月30日（金）に開催予定です。

～プログラム紹介～

西部図書館のあゆみ 当館職員

発表：末満 宗治さん「無いものを図書館で探す」

～ 休憩 ～

発表：三沢 博志さん「調べることはおもしろい・・・
～自然誌関係文献目録編集の経験から～」

ワンポイント図書館活用 当館職員

「千葉県の地図を探す」

質疑応答

情報交換



「図書館 まなびトーク」とは...図書館で学ぶ人たち（学人＝まなびと）の学習体験の発表、交流（＝トーク）の場として、また日常の生涯学習の場として図書館をもっと活用していただきたいという思いから名づけました。（今後の開催予定：10/30（金）、2/26（金））



参加者の声

（アンケートのご意見から）

身近な地名等に「歴史」＝「その時代の人の生きてきた過程」の秘密がひそんでいることが、新たな“発見”であった。発表者の方がとてもわかりやすく調べ方やテーマのを見つけ方（着眼点）を話してくださったので、これからの自分の「生涯学習」に活かしていけると思う。

（無記入）

三沢さんのお話のうち、学習（研究）内容もさることながら、「広がる世界」「連鎖の魅力」...の部分と同感でき、又励まされる想いであります。

（松戸市 71歳）

利用者の方々がいかに図書館を使いこなしているか、又、図書館側もそれに応えようとしていることがよく解かる企画でした。興味があっても自分一人では調べ上げることが難しいテーマを、よくぞ掘り下げたものだと思います。大変興味深く拝聴致しました。

（松戸市 47歳）

発表要旨 (* 要旨は発表者から提出されたものです)



無いものを図書館で探す

スエミツ 末満
ムネハル 宗治

松戸の地名 (大字 : 昔の村名) に、冠付きのものが 13 見られる。そのうち分村、合併を除き、上本郷、南花島、中金杉、中和倉は対になる地名がない。どこにあるのか、或いはあったのか。その由来や如何。

1 はじめに

地名はそれ自体固有の立脚点をもち、また歴史を反映することがあり、或いは時に歴史の基を造ることがある。また地名で冠を付けるものは、時代の進展によって、分割され、或いは区分されるなどの歴史を経ているものである。松戸においても同様であるが、松戸の現大字で、旧村でかつ冠付きのもの 13 のうち、小根本、上矢切、中矢切、下矢切、殿平賀、久保平賀、東平賀、外河原 (江戸川河川敷の中にあり、後移転) の 8 は分割・区分が明らかと考えられ、中根は根本の対と考えられるのに対し、上本郷、南花島、中金杉、中和倉の 4 は、地名の冠「上」、「南」、「中」から、対として「下」、「北」、「上・下若しくは東西南北」の地名を伴うことが必須又は前提となると考えられるところ、その対となる地名が見当たらない。果たしてその経過・由来や如何。これがテーマである。

2 信頼できる資料でこの 4 村を調べる。

日本の地名について全国ベースで信頼できる資料としては、日本歴史地名大系 (平凡社) と 角川日本地名大辞典が挙げられる。そこで両書 (千葉県版) と 千葉県地名変遷総覧 (千葉県立中央図書館) で、これら 4 村をみってみる。

(1) 上本郷村 古文書では、1486, 1584, 1608, 1700 年等本郷村であり、風早郷 (後に庄) の本拠地 = 本郷であることを裏付けるものがあるが、「上」と付けた経緯には共に触れない。に、栗原本郷に対して上本郷というところ。江戸時代の知行は主に旗本佐野氏 禄高 540 石

(2) 南花島村 古文書では、1625, 1699 年花島村とあるが、元禄郷帳には南花島村とある。その経緯を詳らかにしない。江戸時代の知行は主に旗本齊藤氏 200 石

(3) 中金杉村 古文書では、1406, 1501 年金杉、カ子スキとある。金杉の地名は日下総国内に現野田市、船橋市にもあるという。江戸時代知行は旗本小栗、筒井氏

(4) 中和倉村 1650 年頃の旧知行高付帳には中輪蔵村、1699, 1716 ~ 36 頃の古文書で中和倉村だが、「中」の由来を示すものはない。江戸時代知行上本郷村に同じ。

3 手掛りのあるものから追跡する。

この 4 村で手掛りのある本郷と金杉について見る。

(1) 下総国葛飾郡内で、共に本郷村で推移してきた風早郷と栗原郷の本拠地のうち、風早郷だけが元禄郷帳で「上本郷村」となった。

(2) 現野田市の金杉村は、金曾木の転訛で台地等の傾斜地 (日本古語辞典) を意味するとされ、葛飾郡のうち、元は江戸川両岸にあり、右岸が本村であり野田市側は飛地であるという。

現船橋市の金杉村は、古くは金曾木といい、葛飾郡のうち。元禄郷帳で南金杉村となった。では同郡内の金杉村 (現野田市) と区別するため南を冠したのであるという。

4 手掛りを求めて郡内を探す。

3 の (1) (2) とともに、郡内で同名の村を区別するために冠付けされたようである。では花島村が葛飾郡内にあったか。葛飾郡は下総国内であるが、その範囲は、現在の船橋 (全域ではない) ・市川・浦安・松戸・流山・野田・柏 (全域ではない) の各市から西は隅田川まで、北は栗橋辺りまでを含み、現在の千葉県北西部、茨城県の一部、東京都の葛飾区、埼玉県の三郷市、吉川市、幸手市辺りまでを包含する広い地域である。

(1) 葛飾郡の中で花島村がいま一つ現幸手市にあることが解った。この花島村は戸数の少ない小村であるが、江戸時代を通じて花島村であり、後に下総国葛飾郡ではなくなった。

(2) 和倉村又は輪蔵村は葛飾郡内には見当たらず、全国を探しても、和倉村が福井県に 1 村あるだけで、冠付きのものはない。

5 不統一の原因を考える。

元禄郷帳で村名に冠が付されたというについては、同一郡内に同名の村があるときは、冠を付けるなどして区別が明確になるようにせよとの幕府の達しがあったという。(達しは不分明) これは飛脚などの発達で宛先の明確化を図ったものであろう。

これに対し、松戸域ではいち早く反応し、郡内の村名を調べて、対の位置が、北にあれば南を、北、南にあれば中を、南にあるが早い者勝ちで「上」をと、幕府に届け出たと推測される。文書は見出されていないようなので推測に留まるが、こうして松戸域の同名村の冠は先決されたが、現船橋市の金杉以外は反応を示さなかった。

その原因としては、栗原本郷では「下」を肯んじなかった。栗原本郷は、旗本成瀬氏の知行であり、関が原の功で栗原藩 35000 石の大名となり、幕府の通達等無視したか又は本郷はここだけになったと主張したのかも知れない。

花島村も、幸手の方はいまやここだけであるとし、また金杉村も、現野田市の方はもはや重なりは無いとしてなりを潜めたということであつたらうか。

幕府としては郡内に同一名村がなければ良しとして不問に付したか或いは解決済みということにしたのかも知れない。

6 残る問題

中和倉村の「中」の由来については不明のままである。
(付言)いつの頃か古い時代に、一文字の村名は好ましくないとして、二文字以上に改名ということがあったと聞

いたことがある。松戸市域に一文字の村名は見当たらないが、流山市には、加・木・谷・中等一文字が目立つ。経緯や如何。

～ワンポイント図書館活用ミニ講座～ 千葉県地図を探す

地図は、図書館では本と同じように検索できる地図帳があったり、地形図のように1枚で書棚に並べられない形態の場合は別に保管されていたりと、パソコンで一括で蔵書検索をすることができない状態ですので、利用者の皆様にはご不便をおかけしています。今回は地図のなかでも特にご利用が多いものについて資料リスト「千葉県の地図を探す」によりご紹介いたします。

このリストでご紹介している資料のうち、県立図書館で所蔵している資料には請求記号を記入してあります。最近ではインターネットでも様々な地図情報が手に入りますが、インターネット情報の場合にはURL(アドレス)を記入しています。

現在の地図では、道路地図、住宅地図、地形図など縮尺の異なる資料や、地価図、防災地図のように特定の情報に絞って作られた地図があります。求める情報に応じて使い分けができます。地形図や航空写真はインターネット上で得られる情報も増えてきています。

昔の地図については、図書館では復刻版の地図を所蔵していますので、手軽に利用することができます。また、インターネット上では、各所蔵機関が古い地図を画像として掲載していることもあります。



調べることはおもしろい・・・ ～自然誌関係文献目録編集の経験から～

ミサワ ヒロシ
三沢 博志

船橋市自然誌関係文献目録(2001)及び白井市自然誌関係文献目録(2009)の編集をしてきましたが、どのようなきっかけで始め、また、どのように図書館などで文献の調査をしてきたのかを中心にお話したいと考えています。

1. はじめに

私は、2001年と2009年に船橋市と白井市の自然関係文献目録を編集いたしました。自然関係とは、地質、植物、動物のことです。そのような文献目録をまとめようとしたきっかけは、「採らないで見ると」という『自然観察』の方法を知り、自然との係わりをもったことにあります。1989年に自然観察指導員の講習会を受講したのを契機に、近くの森をフィールドとして、身近な自然とのつきあいが始まりました。

2. 文献を調べる

自然観察を続ける中で、この周辺の地質や動植物を知りたいと思い、図書館で調べ始めました。まずは、船橋市西図書館や千葉県立中央図書館で、書誌を活用して調べました。

『千葉県郷土資料総合目録』、『千葉県自然誌関係文献目録地学編、植物編、動物編』、『千葉県地学関係文献目録』などを利用しました。『房総研究文献総覧 新訂』も活用しました。

このようにして調べた200ほどの文献を分類毎に分け、1998年1月に「船橋市自然誌関係文献目録」の第1次案としてまとめました。残りのわずかな補充調査で文献目録は完成できるものと思っていました。と同時に、目録作成は既に他の誰かが行っているのではないかと、目録作成に意味があるのか、といった疑問をかかえつつもありませんでした。

そんな時、千葉県生物学会会長であった故吉田治先生と、お会いしました。目録作成を勧めていただいただけでなく、文献調査についてのアドバイスや多くの研究者を紹介していただいたりしました。迷いを払拭したばかりか、大いに弾みもつきました。また、千葉県立中央

博物館の桑原和之先生との出会いによって、発表の場を紹介していただいたばかりか、その後、様々な共同研究に参加させていただくことになりました。人との出会いというものが、ひとつの仕事を成し遂げる上で重要なことだと思いました。

先生方からのアドバイスなどから、更に文献調査を続けることになりましたが、その一つが専門書誌の活用です。『日本植物分類学文献総目録』、『日本産蝶類文献目録』や、『千葉県産シダ植物の注釈付き文献目録』も活用しました。『日本書誌総覧』は、最近出版されたものですが、あらゆる分野の調査や研究の際に活用できるものです。

文献調査を続けたもう一つの方法は、自然系を中心とした逐次刊行物の全号調査でした。書誌には収録されていない文献がまだあるのではないかと考えたからです。調査の対象としたのは、専門誌・学会誌・会報など約150誌です。主に千葉県立中央図書館・西部図書館や東京都立中央図書館、国立国会図書館で調べました。

専門図書館も利用しました。特に印象深かったのは国立科学博物館図書室と山階鳥類研究所図書室です。千葉県立中央博物館図書室などでも文献調査も行いました。

その結果、第1次案から3年7カ月後の2001年8月に973件を収録した『船橋市自然誌関係文献目録』を完成させることができました。その後、2009年3月に「白井市自然誌関係文献目録」を編集し、『白井市生物多様性調査報告書』に収録されました。

3. 文献目録を作成して

私の役割は、文献を調査することです。文献を活用し、解析するのは、研究者の仕事と考えています。そのため、文献目録を編集して、何が解ったかという結果については報告できるほどのものはありませんが、いくつかの話題を

紹介させていただきたいと思います。

フナバシソウの発見と吉川代之助（船橋）

1960年6月、吉川代之助さんは船橋市丸山町の自宅近くで見知らぬ植物を見つけました。早速国立科学博物館で調べてもらったところ、アメリカ産のキク科植物で、日本ではまだ発見されたことのないものと判明しました。国内で初記録の帰化植物のため、発見地の地名に因み、フナバシソウと命名されました。船橋の地名がついた植物は、この一種のみ。

吉川代之助さんは、1897年東京生まれで、1957年60歳の時に、船橋市に転居。この時から本格的に植物採集を始め、採集地は関東甲信越を中心に全国に及んでいます。吉川さんは73歳から約10年間、船橋市内の植物をエネルギーに調査し、82歳の時に「千葉県船橋市野外植物目録」を出版しましたが、1983年86歳で逝去されました。62歳から86歳までに、80編以上の報文を発表しています。まさに、生涯学習の鑑のような方です。

幻のトウキョウサンショウウオ（船橋）

二宮神社境内の水路改修工事中に、サンショウウオを発見し、調べたところトウキョウサンショウウオであることが判明し、新たな生息地発見と喜びましたが、近くにある大学の実験用のサンショウウオだったとのこと。結局、幻の記録に終わりました。

南方系チョウの北上（船橋・白井）

気候の温暖化が言われておりますが、チョウの世界でも南方系チョウの北上というものもあります。クロコノ

マチョウは、西日本が分布域とされてきましたが、近年分布域を北へ拡大しつつあります。千葉県でも、分布域を拡大していく様子が報告されていましたが、今回の文献調査の結果、船橋市では1999年、白井市では2000年が初記録であることが分かりました。同じようなことは、ムラサキツバメやマグロヒョウモンにも言えます。

昔はカワウソがいた（白井）

カワウソは、国の特別天然記念物に指定されていますが、高知県南西部で1979年に目撃されたのを最後に、その後は目撃されていません。そのカワウソが明治時代には、白井にもいたという文献があります。カワウソが白井のどこにいたのかは記されていませんが、手賀沼の畔で生息していたのでしょうか。たった一行の文章ですが、その当時の風景を思い描くのは楽しいことです。

4. 広がる世界

読書は、1冊読むと、次に読みたい本が出てきて、その本を読むと、また次の本が出てくることがあります。読書の魅力、読書の楽しさはそこにあるのかもしれませんが。

調べることも同じです。調べていると、関連して、次から次へとテーマが広がっていきます。私の例でも、『船橋市自然誌関係文献目録』を出発点として、様々の方向に拡大して行っています。次から次へと世界が広がって、まるで、未知の世界に踏み込んでいく、探検家の気分です。とても楽しく、かつ、おもしろいことです。図書館などで調べることは、とてもやめられそうにもありません。

西部図書館のあゆみ

入館者500万人達成

千葉県では、明治40年、公立図書館がほとんどなかった時代から、各地の小学校を拠点にした通俗巡回文庫を始め、また、戦後には、払い下げられた占領軍のジープを使って、日本で初めてといわれる移動図書館を巡回させるなど、県内に均等な図書館サービスを目指してきた。

しかしながら、千葉市を拠点として全県を巡回するのは効率的ではないので、県域を4つのブロックに分け、それぞれに物流センターを置き、近隣の市町村図書館職員を対象に、相互協力、レファレンス、職員研修などを実施するブックセンターが構想された。

その1番目が「東葛飾地方ブックセンター」で、設計の段階では、閲覧席が36席しかないなど、来館者サービスは極めて限定的であったが、その後直接サービスを行うよう方針転換され、1987（昭和62）年、県立西部図書館として開館した。10年目に書庫棟の増築を行い、閲覧席も164席まで増設して現在に至っている。

西部図書館は、交通の便が悪い、駐車場が狭い、利用者用の休憩コーナーがない、浄化槽の処理能力が小さいので悪臭がする、など多数苦情をいただくが、それはみな誕生のいきさつに端を発している。しかしながら、今年の6月には入館者500万人を達成するほどまで、皆さんに利用していただいているので、今後とも愛される図書館を目指して努力していきたい。

情報交換

- ・発表は同じ人が2回、3回と発表できるのか。例えば今回のようなテーマの発表では他（の地域）にも発展するような内容であるので、また聞いてみたいと思ったのだが。
- ・この会は専門の方の話を聞くのではなく、図書館を活用した体験を発表していただくことを趣旨としているので、できるだけ多くの方に発表していただきたいと思っています。話の内容が優れている等ではなく、図書館を使った体験の発表の場として、他に発表の方がいない場合はご希望をお受けすることができるかもしれませんが、それ以外の場合にはできるだけ多くの方に発表していただきたいと思っています。（図書館）
- ・発表はだれにでもできるもので、図書館に資料はたくさんあり、貸出しできないものはコピーなど利用して、「生涯学習」と構えずに、気軽に発表してはどうか。思いつきでも構わないのでぜひ皆さんで交代で発表してほしい。

2009年3月18日開催

湯沢 幾男さん「日本の風土を考える
～二つの風土論から学んだこと」
阿部 幸次さん「樺太アイヌの歴史と山辺安之助の『あいぬ物語』」

2009年5月22日開催

細井 澁さん「良寛和尚の足跡」
岡戸 大國さん「無害な核エネルギーと中央アジアの資源大
国カザフスタンの将来展望」

図書館 まなびトーク 学人（まなびと）ニュース

発行日：平成21年8月11日

編集：千葉県立西部図書館

〒270-2252

千葉県松戸市千駄堀 657-7

TEL 047-385-4133

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>





2009年11月

図書館 まなびトーク

学人ニュース

図書館を利用して行った生涯学習の発表会

継続するは力

図書館 まなびトーク

千葉県立西部図書館では、読書週間 - 10月27日(火)から11月9日(月)まで - にあたる10月30日(金)に、31名のご参加をいただき、今年度第3回目(通算4回目)の図書館まなびトークを開催しました。

午後1時30分からの第1部「発表の部」では、ご応募いただいたお二人に、佐久間直次さんには「豊富な史料を利用して学習～天文と古代人の関わり～」というテーマで、中條藏實さんには「図書館を書斎に！ 読書会100回余とポストモダン」というテーマで発表していただきました。発表の後、当館職員が発表テーマに関連した「ワンポイント図書館活用ミニ講座」を行いました。
(発表要旨は次ページ以降をご覧ください。)

第2部は「トークの部」として、参加者の皆様による情報交換と図書館トークを行いました。発表を聞いての感想や生涯学習についての思い、図書館への要望などについて意見交換しました。
(トークの内容は最終ページをご覧ください。)

次回は平成22年2月26日(金)に開催予定です。

～プログラム紹介～

<第1部 発表の部>

佐久間 直次さん「豊富な史料を利用して学習
～天文と古代人の関わり～」

中條 藏實さん「図書館を書斎に！
読書会100回余とポストモダン」

～ 休憩 ～

ワンポイント図書館活用 当館職員

「暦について調べる」

質疑応答

<第2部 トークの部>

情報交換と図書館トーク



参加者の声

(アンケートのご意見から)

「天文と古代人の関わり」というタイトルに関して興味深く拝聴致しました。天文に関しては普段私共の生活と深い関連がありますが別の切口でのお話であり参考となりました。
(松戸市 65歳)

発表者の内容は別にして「継続は力なり」と改めて感じました。
(松戸市 60歳)

二人共、自分なりの目標に向かって生きていらっしゃるので、元気を分けてもらったような気分で、図書館を後に帰れそうです。佐久間さんの話は、理科の授業みたいで楽しめた。
(松戸市 56歳)

各人各様に自分に納得できる行き方、学び方を模索しており、大変参考になった。
(松戸市 66歳)

大変素晴らしい企画であり、永く継続され地域の活性化を楽しみ乍ら集い合い度い。
(松戸市 67歳)

「図書館 まなびトーク」とは...図書館で学ぶ人たち(学人=まなびと)の学習体験の発表、交流(=トーク)の場として、また日常の生涯学習の場として図書館をもっと活用していただきたいという思いから名づけました。(今後の開催予定: 2/26(金))

発表要旨 (* 要旨は発表者から提出されたものです)



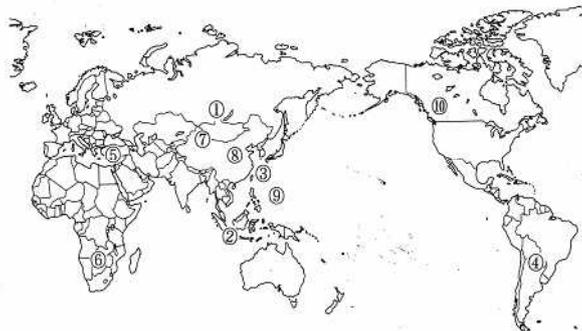
豊富な史料(資料)を利用して学習「天文と古代人の関わり」

佐久間 直次

星に魅せられて、日食を追い地球の裏側まで観測に行ったが、先日のトカラ日食は悪天候であった。未知の宇宙については科学技術の進歩により日々、解明されつつある。最近、「天文と古代人の関わり」についても興味を持ち、それらの学習を楽しみにしている。

この3月、40年間の教員生活を終えるにあたり、定年後の生活は何をすべきか考えた時、真っ先に、これからは思う存分に趣味の天体観測や写真、読書、落語鑑賞、散歩、自然観察、園芸、旅行等ができると思ったが、何か、もの足りない気がした。

これまでに日食やハレー彗星、オーロラを追って地球の裏側まで観測に出かけた。シベリア、インドネシア、沖縄、パラグアイ、トルコ、アフリカ、中国(新疆ウイグル自治区)、中国(池州)、サイパン、カナダと

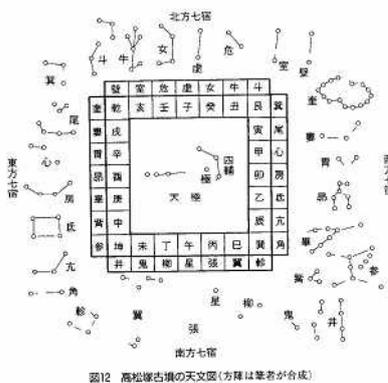


その都度、世界遺産ともなっている名勝、遺跡等を訪れたが、昨年シルクロード日食の観測ツアーで観光した中国のウルムチ、トルファン、敦煌、西安等の遺跡の見学から「古代人が天文現象をどのように捉え、畏怖し、利用したか」を思い、それら一つでも知りたいとの願望を抱いた。

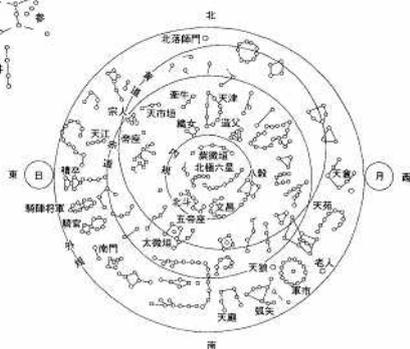
シルクロードの東の終点である日本の奈良の地でそれらを勉強したいと思ったとき、新聞で奈良大学の入学案内を目にして、迷わず入学をした。

「天文と古代人の関わり」をテーマとして

- 弥生時代：土器、銅鐸に描かれた天文図
- 古墳時代：古墳の天井絵の天文図



高松塚古墳



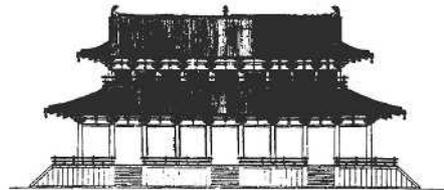
キトラ古墳

図9 キトラ古墳の天文図(すべての星をを含む)

- 飛鳥時代：仏像・光背の中に見る天体
- 奈良時代：都市計画、神社仏閣等の建造物と天体

大極殿の名称

大極殿は平城京でもっとも重要な建物
中国では宇宙の中心を北極星と考えた
北極星=大極星といわれた
国の中心は都(平城京)、その中心の建物を大極星からとって大極殿とした



推定第一次大極殿の復元図

万葉集・古今集をはじめとする和歌に詠われた天体

い三春ふあ
で笠日りま
しのなさの
月山るけ原 阿
かに見 倍
もれ 仲
ば 麻
呂



暦の元としての天文現象

- ・一日の長さ：昼夜の周期(地球の自転)
- ・一月の長さ：月の満ち欠けの周期(月の公転周期)
- ・一年の長さ：季節の周期(地球の公転)
- ・中国の暦が日本に伝えられたのは欽明天皇14年(553年)
- ・推古天皇10年(602年)官暦として正式に採用された?
- ・持統天皇4年(690年)、「勅を奉りて始めて元嘉暦と儀鳳暦とを行う」

これらを図書館の豊富な史料(資料)を活用して調べてみたい。

幸いにして西部図書館は理系の図書が豊富と聞く。四月から通い始めて日が浅く、どのような方法で、また、どのように調べたら良いか。未知な事だらけである。館員の方々にご指導を頂き学習を楽しみたい。

還暦の 洩垂れ小僧に 喜寿の兄
知るを楽しむ 今が青春

直次



図書館を書斎に！ 読書会100回余とポストモダン

なかじょう くらみ
中條 藏實

西部図書館通いの仲間で作った『読書交遊会』は、今日までの約10年間に100回余を続けてきている。代表なし、司会なし、会則・会費もなしでやってきたあとをふり返って、その内容と特徴を報告する。

【1】読書会はじめて、100回余の実施内容と、その特徴

我々は10年前の2000年12月に図書館通いの仲間が、出入り自由で自主的な『読書交遊会』をつくった。当時の閲覧室の空気を、昨今と比べると、うつ然とした気おもな感を強くしている。これは団塊世代を反映して、品格のある人が多くなってきている関係とも云える。

ともかく、今日まで100回余り続いている読書会の内容については、配布してある『読書交遊会開催記録』を参照してほしい。ここでは全体を通して一般的に言えば、宇宙論、地域論、小宇宙の脳構造科学など自然と人間とのかかわり。次には文化、思想、哲学から歴史とのかかわりのもの。加えて、暮らしの場から社会システムの在り方を求めるもの。さらには、般若心経の心読といった分野から、日本語の源流をたずねるとともに、漢字の導入に伴う儒教、道教、仏教などの伝来による日本文化として融合、「和」の心による独自の文化形成の独創性といったテーマの選択にもわたっている。

この間、日帰りハイキング、宿泊旅行を都合20回余も企画して、親睦を深めている。

とくに、当面の世界大不況をめぐっては、単なる経済的循環とみるのではない。アメリカによって世界化された現代文明の危機として認識する。この文明論的視点に立って、「新しい社会」に向けて、脱工業社会からの「大転換」の構想の具体化について佐伯・榊原両人の、いわゆる「ポストモダン論」を紹介してみることにした。これはごく最近の103回と105回に報告した内容である（開催記録6ページ参照）。

【2】「公共計画」実現で「脱工業社会」への転換うながす佐伯

佐伯啓思 京大名誉教授は、今回の100年に一度の危機を捉え、当面の景気対策なり、グローバル化を含めた中期的視点からの福祉政策の強化の重要性を十分認める。さらにすすめてダニエル・ベルの『脱工業社会の到来』（1973）に依拠して、新しい社会は価値観の『大転換』によってはじめて実現するものとして、次のように提言している。

「新しい社会」は「公共計画」という概念を前面に、それをベースにして「人と人とのゲーム」の構想として捉え、人々の合意に基づく公共計画を立て、そこでの世代間の争いなどを克服して実現される社会である。したがって当面、医療・教育・環境保護・自然との共生・都市の景観・安全性・資源・文化の進展という社会的文化的資産の充実を目指すスタートを切るべきである。このために同じ巨額の不況対策費を支出するならば、このような展望理念をふまえて取り組むべきだ。この了解は市場中心主義とは全く異なった価値の要請であるとしている。

その際、農業が生み出す基本的生活物資の自給体制に向けては、部分的な経済ナショナリズムは当然の発現としていく

べきである。こうして今次大不況を契機として経済社会の構造的な大転換運動をスタートさせるべきと促している。

【3】榊原は大胆にも「日本回帰」「江戸回帰」を説く

「ミスター円」の異名をもつ榊原英資も近著『大不況で世界はこう変わる』の中で、今回の不況を「構造的」なものとして捉え、アメリカ的金融資本主義の崩壊、GMなどビッグスリーの破綻にみる、物づくりアメリカの落日と見て、日本の進むべき道として、日本というユニークな歴史と伝統文化、地政学的地位を活かして、とくに日本は600年（平安時代と江戸時代）にわたって絶対平和であったこと。「神仏習合」と「和」の心による「権威」と「権力」の二元的分立の貴重な政治的社会的システムの妙味を確立している。

天皇制を軸とし、多神教である寛容性もあって日本の安定的政治システム、さらには、明治維新以来の文明開化による西欧近代の思想と制度を摂取して、日本は独自の融合日本文化を醸成していること。とくに、江戸時代における「兵農分離」を前提としつつも、社会構造面においては、武士階級も農民社会にあっても、西欧的なものに比べ平等性が色濃く、寺子屋の普及による平仮名の創造も手伝って村単位の自治が強かった。この事実在即して榊原は「ポストモダン」の新しい社会構造構築において「日本回帰」を大胆に説く。

なかでも、地方分権では道州制よりも30万人以上の基礎的自治体として位置づけ、中央政府、基礎的自治体の300を形成（江戸時代260藩）して、現在の五重構造（中央政府・地方出張所・都道府県・市町村・民間）から三層構造（中央政府・基礎自治体・民間）の国のかたちを目指すべきである。このイメージ提言は、日本と日本人が欧米化、アメリカ化し過ぎた現実を直視し、日本と日本人を「日本回帰」することによって日本の平和力、文化力、技術力といった強みを再発見して世界に発信していくのが21世紀日本のあるべき姿と考えている。これは決して狭い懐古趣味やナショナリズムではない。

【4】「まなびトーク」は読書交遊会の継続と自己進化の場

今年3月に始まった西部図書館キモ入りの生涯学習や各人の目的をもって学んだことの発表の場を提供したという、願ってもない企画には賛成である。

我々はこれに参加し協力することによって自らの視野を広げ、大いに知的刺激を受けて、読書会としての「活性化」を促すことにもなるとみている。何よりも、佐伯が云っているポストモダンの「新しい社会」をつくり出すのもっとも大切で、地域における信頼感（構造改革によりズタズタにされている）を取り戻し、高めていく一環を進んで担うことにもなるという点では、我々は自重し誇りとすべきであると思っている。

（以上）



～ワンポイント図書館活用ミニ講座～ 暦について調べる 調べ方の事例

暦についてよくある疑問を調べるのに便利な図書館所蔵の参考図書をご紹介します。
()の中は当館の請求記号です。詳しくは資料リスト「暦について調べる」もご覧ください。

Q1 元禄15年12月14日は西暦ではいつ？

A. 西暦(新暦)と和暦(旧暦)が対照できる資料で調べられます。(A. 1703年1月30日)
便利な参考図書『江戸幕末・和洋暦換算事典』(西部参考 4493-6)

Q2 過去数年間、今後数年間の六曜(先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口)を知るには？

A. 暦についての参考図書で調べられます。
便利な参考図書『21世紀暦 曜日・干支・九星・旧暦・六曜』(西部参考 44981-3)

Q3 七夕、中秋の名月は今の暦ではいつ？

A. 理科年表の暦部などで調べられます。
(A. 2009年の伝統的七夕は8月26日、中秋の名月は10月3日でした。)
便利な参考図書『理科年表 第82冊(平成21年)』(西部参考 4036-1-09)

Q4 七十二候(しちじゅうにこう)について調べるには？

A. 暦についての参考図書で調べられます。(A. 二十四節気をさらにこまかく三等分して、一年を五日ごとに分けたのが七十二候である。[『暦の百科事典』より])
便利な参考図書『現代こよみ読み解き事典』(西部参考 4493-8)、『暦の百科事典』(西部参考 4490-2)、
『暦と時の事典 日本の暦法と時法』(西部参考 4490-1)



情報交換と図書館トーク

図書館の分担収集について。取り寄せについては知っているが、2、3日かかるので2度図書館にこななくてはならない。パソコンもあまりつかいやすくないので改善できないが。

県立図書館は3館あり、財政が厳しいので、1冊の資料を3館で貸し借りする方法を取っている。県西部地域では市の図書館が充実しているため、市の図書館で比較的所蔵が少ない自然科学、医学、科学技術の分野を重点的に収集している。周辺に図書館の数が少ない東部図書館では比較的ポピュラーな文学や歴史を、中央図書館では残る社会科学、芸術、語学等の分野を収集している。それぞれの所蔵資料は週に2回車を回してやり取りをしている。そのためご不便をおかけして申し訳ない。パソコンが使いにくいときには図書館職員が電話で対応もしているのでご利用いただきたい。各市立図書館での取り寄せ申込、貸出、返却もできるのでご利用いただきたい。パソコンの検索では「キーワード」検索を使用したり、検索の言葉を少なくして再検索することで、検索結果が増えることがあり、またパスワード登録をすると自宅から予約ができ1回の来館で済むのでご利用いただきたい。(図書館)

社会科学の本が少ない。蔵書が充実していない市立図書館もあるので、例えば3年や5年ごとに重点分野をかえるなどしてほしい。本の情報はタイトルや著者だけでは不十分で、実際に手にとって見てみないとわからない。分担収集のローテーションを組んでほしい。

重点分野も10年が経ち見直しの意見もある。検討の時間をいただきたい。(図書館)

特別整理期間が9日間というのは長すぎる。毎月計画的に1、2日ずつ蔵書点検を行い休館期間を短縮してほしい。蔵書点検のときのみボランティアを募集してほしい。

蔵書点検は約27万冊の資料が所定の場所に並んでいるかどうかを年2回棚卸しして点検している。作業の効率化をはかり、以前の10日間から9日間に1日短縮する事ができた。作業につかう読み取り端末の台数にも限りがあり、人数だけで解決できない。今後効率化について研究していきたい。(図書館)
今日の発表を聞いて、興味の対象が物事の本質、原理、原則、宗教等に向かっていくのを感じる。文系と理系とを分けて、文理融合的な知見に基づいた思想が求められる時代になっていると思った。有意義なことをなさっているお二人がうらやましいと思った。

地球の定員は何人だろうか、といったこともそろそろ考えるときは。

そのような先のことを考えるときには自然科学が元になるのでは。

図書館の**背表紙にラベルや参考書シールが貼ってあり**肝心の巻数や内容がわからない。貼る位置を検討いただきたい。

ラベルは本の置き場を示すため決まった位置に貼るようにしている。ラベルは1段目が分類、2段目が受け入れ番号、3段目にシリーズや全集の巻数を表示しているのでラベルもご覧いただきたい。背表紙の情報が隠れてしまう場合には、補記できるものは補記していきたい。(図書館)

パソコンでワードエクセルを学習したいと思ったが、ソフトは使用できなくて残念だった。

図書館では検索の仕方はご案内できるが、パソコンの講座は行っていない。他の機関をご案内します。(図書館)

自分も大学で聴講し、しだいに人のつながりができていろいろな活動に発展した。発表者のお二人のおっしゃることもよくわかった。

学人紹介

2009年3月18日開催

湯沢 幾男さん
「日本の風土を考える
～二つの風土論から
学んだこと」

阿部 幸次さん
「樺太アイヌの歴史と
山辺安之助の『あいぬ物語』」

2009年5月22日開催

細井 滋さん
「良寛和尚の足跡」
岡戸 大国さん
「無害な核エネルギーと
中央アジアの資源大国
カザフスタンの将来展望」

2009年7月24日開催

末満 宗治さん
「無いものを図書館で探す」
三沢 博志さん
「調べることはおもしろい・・・
～自然誌関係文献目録編集
の経験から～」

図書館 まなびトーク 学人(まなびと) ニュース

平成21年11月11日発行
千葉県立西部図書館編集

〒270-2252
千葉県松戸市千駄堀 657-7
TEL 047-385-4133
<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

2010年3月

図書館 まなびトーク

学人ニュース

図書館を利用して行った生涯学習の発表会

語り、深める

図書館 まなびトーク

千葉県立西部図書館では、2月26日(金)に21名のご参加をいただき、図書館まなびトークを開催しました。今回は岩淵梧郎さん、石橋勲さんのお二人が発表の部にご応募くださいました。

第1部「発表の部」では、岩淵さんが「ホーキングの「時間順序仮説」を読んで考えさせられるもの」のテーマで、石橋さんが「自分なりの図書館利用法」-新聞・雑誌を読む-」のテーマで発表してくださいました。発表の後、当館職員が「ワンポイント図書館活用ミニ講座」を行いました。(発表要旨は次ページ以降をご覧ください。)

第2部は「トークの部」として、発表者、参加者の皆様と図書館職員を交えての情報交換と図書館トークを行いました。発表を聞いての感想や図書館資料の利用方法について意見交換しました。(トークの内容は最終ページをご覧ください。)

昨年3月に、第1回目を開催してから、今回で5回目の開催となり、今までに合わせて10人も学人に発表をいただきました。そして利用者の皆様と図書館のコミュニケーションの活性化を模索することから始まったトークの部も、回を重ねるごとに参加者の皆様の積極的なトークに支えられ、ますます盛り上がってきています。この場を借りて御礼申し上げます。次回は国民読書年記念開催を企画しております。新たな学人の登場をお待ちしております。

~プログラム紹介~

<第1部 発表の部>

岩淵 梧郎さん「ホーキングの「時間順序仮説」
を読んで考えさせられるもの」

石橋 勲さん「自分なりの図書館利用法」
-新聞・雑誌を読む-

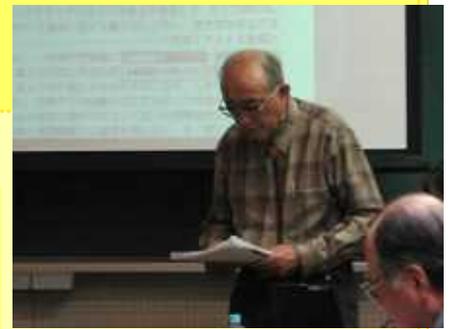
~ 休憩 ~

ワンポイント図書館活用 当館職員

「新聞・雑誌で調べる」
質疑応答

<第2部 トークの部>

情報交換と図書館トーク



参加者の声

(アンケートのご意見から)

皆さま、本よりいろいろと学ばれているようで大変参考になりました。定年後の時間の使い方に新しい目が開けたような感じです。次回のまなびトークにも参加させて頂きたいと思います。

(松戸市 64歳)

本日は参加させて頂き、ありがとうございました。(中略)今回の学習に参加させて頂き、もっと中身を読み解く努力を...。又、他のジャンルの本も手にし、楽しみにしながら、幅広く学習してゆきたいと思いました。

(松戸市 60歳)

岩淵さんのお話はむずかしかったです。(中略)科学・宗教・哲学の相関関係のこと、これほど体系的によく把握されていることに深く感銘致しました。石橋さんのお話も、図書館の利用・活用の姿勢に感心しました。『まなびトーク』は松戸市の友人のすすめで初めて参加しました。大いに刺戟となりました。ありがとうございました。

(我孫子市 73歳)

「図書館 まなびトーク」とは...図書館で学ぶ人たち(学人=まなびと)の学習体験の発表、交流(=トーク)の場として、また日常の生涯学習の場として図書館をもっと活用していただきたいという思いから名づけました。



ホーキングの「時間順序仮説」を読んで考えさせられるもの

いわぶち ころう
岩淵 梧郎

標記「時間順序仮説」は10年前に読書交遊会で一番最初に報告したのですが、それから派生的に図書館蔵書を中心に分子生物学、脳科学、哲学など読みあさりましたが、今回標題と哲学の歴史的経過とに関連させ私的考察の一端を僭越ながら語らせてもらいます。

標題は1990年2月と1991年6月ホーキング博士が来日した時講演されたものようです。先ず出出しはこのような件(くだり)から始まります。「全てが予めそのように運命づけられているのでしょうか」運命が定まっている説は、全知全能の神が時間の外にいて、この宇宙を創造したのだから神は何が起こるかが全て知っているからであると、されている。それでは私達の自由意志というものは意味がなくなる。意味がないとすれば、自分の責任をとる必要がなくなる。ある人が殺人を犯すよう運命づけられているとすると、その人は罪にならず罰せられないことになる。と、彼自身の哲学的趣きで決定論批判から始まる。

勿論ホーキングに於いての決定論は神でなく、科学基盤に基づいて論じていて、宇宙進化のシナリオが決定できるとされる「力の統一論」にあります。重力・弱い力・電磁力・強い力とがあり、現在電磁力と弱い力は電磁統一論として実験確認されている。これと強い力との大統一理論も確立している。しかし重力との究極の統一論は具体的な理論として出来ていない。その理由は一般相対性理論と量子論の「仲の悪さ」で、他の力は量子論で記述できるのに、重力を量子論で記述する「量子重力理論」はまだ未完であるからとされる。

以下この著書の大雑把な内容を記述させていただきます。と、

1. 決定論批判: ホーキング曰く、いずれ「力の統一論」は、ここ半世紀待たずに完成するだろう。しかし宇宙の些細な部分は基本法則の中にある量子論は不確定性が起因するもので、宇宙の未来総て決定付けられるとは考えにくい。又人間の振る舞いも脳内の多彩な粒子の関与の方程式が解けない。たとえ解けたとしても、予言したという行為が系を攪乱し決定論にならない。

2. 物理法則は過去への旅を許さない: 過去への旅の方法はブラックホールの中に入ることである。一般相対性理論方程式の解にはブラックホールに入ったのち、どこか別なところでホワイトホールから出てくる解がある。ホワイトホールとは時間の反転したもので過去に出られる。しかしながら過去に旅しようとしたときに、何が起こるかという不確定性原理の効果で大量の放射能が発生し、それによって時空が湾曲して行けなくなるか、時空にビッグバンやビッグクラッシュのような特異点が発生して、そこで終わる。か、いずれかで、「時間順序保護監督官」なるものが出て過去へ旅する事を防いでおり、歴史家が安心できるようになっている。

3. 宇宙は虚数時間の中で始まったかもしれない: 一般相対性理論で宇宙の起源を辿ると実時間の方向では物質やエネルギーが、時空を丸めようとする事で必然的に時空の終焉である特異点の存在に行きあたり、そこで物理学の方程式が成り立たなくなる。従って何が起こるかわからなくなる。しかし虚数時間の方向は、実時間に直行するので、虚数時間の方向が、空間内での移動に対応する三つの方向と同じような性

質を持つ。すると宇宙にある物質によって作られた時空の曲がりによって三つの空間方向と虚数時間が丸まった方向で出会うことになる。三つの空間方向と虚数時間とは境界も端もない、丸く閉じた時空をなし、それに始まりや終わりと呼べる点はどこにもない。

1・2項からは予め決定されている事などや、過去に戻りやり直すなど不可能である事が科学的に証明されている。自己の自由意志にて現実を直視し未来を切り開いて行くのみであると示唆が伺える。

3項の虚数時間に関して、宇宙物理学者のカール・セーガンは「これは神に就いての話である。ひょっとすると神不在の話かもしれない」。かつ「空間的に果てしなく、時間の始まりもなく終わりもなく創造主の出番のない宇宙である」。との賞賛は有名である。

キリスト信仰者に於けるホーキングの評価であります。1~3項を見ても正に神不在を証明するがごときインパクトを与えたみたいである。1670年代ガリレオの地動説以来、ビッグバン説によって絶対の神の一撃による創造の神として出番があり面目が保たれたところであったが、このホーキング説にはかなりの反駁が伺える。天文学者でありキリスト信者であるヒュー・ロス博士は、熱いビッグバンにて膨張する宇宙の「比エントロピー」の10億が70%の水素・24%のヘリウム・6%の重元素を生む事で神秘的な美しい秩序を持った宇宙が出来たので、「比エントロピー」がこれより大きくても小さくても、宇宙の歴史において星も惑星も決して存在しなかった。これは聖書に記述せし、神による天地創造である。ホーキングは「人間原理」を拒絶している。よく宗教者を「ギャップの神」と罵るが、理解しえない部分を虚数時間で「ギャップの自然」のようなものに任せている。と、彼の著書「宇宙の起源」に記している。

しかし量子論には虚数の出現が多く見られるようになり、シュレディンガーの方程式に必然的に虚数・複素数含まれ、小林・益川の理論「CP対象性の破れ」にも用いられ実験で証明されるなど神の領域が時代の科学の進歩によって狭められて来ていることは事実である。こうした成り行きは、哲学も同じ運命を辿っている向きがあります。

次は大雑把な図式で哲学に対する客観科学化による侵食の様相を見てみると、歴史上から見て哲学は何といっても古代BC348~322のアリストテレスの「形而上学」を筆頭として、倫理学・論理学が時代の出発点と考えられます。そして今ではとても哲学とは考えられないような政治学・経済学・宇宙学・気象学・自然学・動物学・博物誌・詩学等非常に多岐に渡っていて、これらのタイトルの中には現在でも一つのカテゴリとして成立している学問がたくさん伺えます。そして形而上学における存在論での神は、大変精緻に組立てられた、抽象的な神と言う全知全能な様態論でありました。

中世に入って、これが神学と密接に結び付き、スコラ哲学を誕生します。しかしこうしたアリストテレスの知的で巨大な学問も、天体の運行に誤った記述をしており、これが有名なガリレオ・ガリレイによる地動説の客観科学化による侵蝕の始まりとなります。この世紀以降科学は思弁を捨て、実験・数学による実証によって事実を見出すようになり、又哲学は客観性の保証を捨て内観内省を主なる武器とするよう方向付け進んだ。

近世に入って、神中心主義から人間中心主義の世界観へと転換し神も自然神学(汎神論)へと変遷していき、合理主義は、認識とは理性が考え出したものだけが真の認識とした。それに対し経験主義は経験から得る印象を精神が受動的に受ける事で対象を認識するとして対立した。こうした哲学の方法論は結局のところ頭の中でいろいろ概念を捏ね繰り返す思弁に過ぎず。科学の発達は感覚器官を通じ、脳内で認識されるメカニズムの解明が進みかなりの部分が侵蝕された。その結果心理学は認識哲学の一部であったが思弁を排し実験心理学へと独立しました。

現代に入って、合理主義と経験主義の対立を調停したカント、主格を合一したヘーゲルなどの本質に拘って現実を目をそらしていることから、現実に存在しているものに対し思考した現代哲学を代表する実存主義へと移り変わった。こうした存在論も、客観的肉体的人間存在については生理学・分子生物学・生命科学によって侵蝕され、もっぱら20世紀に残された哲学領域は主観的に存在すなわち自己という存在とか、自己意識の世界について語る無神論的実存主義と現象学ということになります。

以上哲学に関しては、私は若輩者にて客観科学化による侵蝕のみ強調した形で、ご異存ある方もおられるでないかと思いますが、ご容赦を願うと致して、この哲学には、歴史的変遷から別な角度で感じることは、西洋哲学でありながら、中世に於けるキリストの絶対の神中心から近世においては自然内在の神(汎神論)と共に人間中心主義へ変遷している。かつ現代に入ってショッペンハウアーに至っては、仏教の諦念思想を表徴し、ニ・チェは私的に見て諦念観念に似てもいつかぬ永遠回帰思想を提唱、フッサールの現象

学と共にハイデガーの存在論へと影響し、ハイデガーは遂に自己の存在の無根拠さから「無」の哲学に行き着く。この「無」の哲学に関連して、日本の「偶然性の哲学」を想起した九鬼周造はハイデガーと深く親交があり、こうした背景から西洋哲学は自然内在の神から仏教的「無」の哲学へと東洋ナイズされていく側面が伺えます。ハイデガーと同年代に京都帝大教授の西田幾多郎がありますが、彼の「無の自覚的限定」は私的感触になりますが、ハイデガーと共通している側面が伺えます。結局現在では、宇宙の根源は**根拠=無**で時間も空間も未分化、そして自己の根源も**根拠=無**で「私」は「私」であるか「世界」であるかは未分化である と根源的に宇宙論も哲学も**無**に行き着くが実感です。後に九鬼周造は西田の京都学派に招聘されました。

21世紀に入ってから哲学とは「地球循環型自然環境」に於ける人間の主観的存在意義と現象学に見られる思考と認識の原理でないかと思えます。この存在の意義についての留意は、人間以外の動物はその種の成長と保存の原理に従って、食欲・性欲・行動欲等その種の遺伝によって制約されて、その種のバランスが維持しているものと思えます。しかし人間の欲望は大雑把に見てこれにプラス知りたい欲望(知的欲)・支配欲・その他諸欲が考えられるが、問題なのはその欲に対する制約は、一切人間の思考と認識に一存されているという事です。所詮人間は他の動植物のお蔭で摂取し生きるしかなく、こうした地球循環型自然環境の中の人間であって、決して「人間原理」の地球でないということです。

こうした事を留意し思考した認識による人間の主観的存在意義を理性にして欲望の制約を図るべきことになる筈である。又この世紀に至っては科学も益々進歩し、欲望と相関する経済もそれに伴って複雑さを増し、尚々不確定性的要因がその方程式の解が求め難くなるでしょうが、何れこれもこうした人間の存在意義で自己制約していくしかないと思えます。

これは現代に於ける哲学のあるべき課題の問題を提起したに過ぎません。具体的に提示するとなれば、過去の哲人が矛盾に向かって格闘苦闘したように広範な知識と思考と認識の冴えた哲人にお出ましして貰うしかありません。

幾ら科学が進歩したとて、人間の主観的問題は、客観科学化が解決するもので無く、人間の主観自体での思考と認識にあるだと結論してこの学びトクの発表を終わらせて頂きます。



“自分なりの図書館利用法” - 新聞・雑誌を読む -

いしばし いさお
石橋 勲

西部図書館の豊富な新聞・雑誌など、溢れる情報の中から、必要なものを的確に選択し、読みこなすことは意外にむづかしい。2010年のキーワード(経済)は?

経済・金融の世界ではグローバル化が進み、市場(マーケット)の連動性を高めています。経済・金融情報と上手に付き合うためには理論だけではなく、実際にさまざまなテーマを巡る情報が具体的にどのように報道されているのかに留意する必要があります。

西部図書館の豊富な新聞・雑誌など溢れる情報のなかから、それらを鵜呑みにすることなく、必要なものを的確に選択し、又捨象し、読みこなすことによりそのスキルは向上するものと考えられます。

各マーケットは短期的には不規則極りない動きをしたとしても、中・長期的には決して実体経済(経済の基礎的条件・ファンダメンタルズ)の動きから大きく乖離することはありません。

われわれは、経済・金融の動きが、今どの方向に動いているのか、なぜその方向に動いているのか、これからどの方向に動くか予想されるか、の問題意識を持つことが大切です。

新聞・雑誌等の身近かなソースからの第一次情報は今

後のシナリオ想定に必要な不可欠なものであると思われ
ます。

内容(予定)

- 新聞報道は常に正しいか。
- 解説記事は的確か。
- エコノミストの見方は信頼できるか。
- 新聞編集を参考にする。

トップ記事かベタ記事か、その表現・ニュアンスは、
各種統計を客観的にみる。

新聞・雑誌・その他情報に基づき、分析を踏まえ、そ
の理論的根拠と整合性を保ちつつ自らのシナリオを描
き、検証し、反省する。

2010年のキーワードは?
その他



～ワンポイント図書館活用ミニ講座～ 「新聞・雑誌で調べる」 入門編

新聞・雑誌を探るとき、新聞・雑誌記事の記事を調べるときに便利なホームページや図書館所蔵の参考図書、
図書館で利用できるデータベースのご紹介です。お取り寄せやコピーなど、図書館利用時のポイントもご案内
しています。詳しくは資料リスト「新聞・雑誌で調べる～入門編～」をご覧ください。

1. どんな新聞・雑誌が発行されているか調べるには

参考図書：『雑誌新聞総かたろぐ 2009年版』(西部参考 0275-8-09)

2. 図書館にある新聞・雑誌を調べるには(所蔵検索)

HP：新聞・雑誌総合目録検索(千葉県立図書館HP内)・HP：国立国会図書館 NDL-OPAC ほか

3. 新聞記事を探すには(記事検索)

HP：千葉県関係新聞・雑誌記事索引検索(千葉県立図書館HP内)

データベース：朝日新聞「聞蔵」・日経新聞「日経テレコン21」

参考図書：『明治ニュース事典』(西部参考 2106-42-1～9)・『大正ニュース事典』(西部参考 2106-60-1
～8)・『昭和ニュース事典』(西部参考 2107-125-1～8へ) ほか

4. 雑誌記事を探すには(記事検索)

HP：千葉県歴史関係雑誌記事索引検索(千葉県立図書館HP内)

HP：国立国会図書館 NDL-OPAC「雑誌記事索引」

参考図書：『大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録』(西部参考 0275-15) ほか



情報交換と図書館トーク

自分は新聞、雑誌報道に間違いはないと理解してきた。

新聞にも間違いもあるということで、それを見分けるのは一人一人の読み方による。情報をど
う扱うかは読む人本人のしだいである。基礎的なものの考え方、見方をもっていれば新聞に惑
わされることがないのでは。

新聞のコピーは、場合によって著作権の侵害になるとのことだが、出典を明らかにした場合
でもそうなのか。

文化庁によると、会議の席等で著作権のあるものを無断でコピーして配ることは、著作権法
違反であるといわれています。(図書館)

岩渕さんの発表について、宇宙とか、量子論という見地から西方浄土はどのように扱うのか
と考えた。別の宇宙はあるのだろうか。

ブラックホールから抜け出すと別の宇宙があるという話はあるが、実際、宇宙はどこが境なの
かわからない。膨張しているというが、果たしてそのものの境はどこなのか、科学的に解決で
きない。ある可能性はある、ということではないか。自分にはわからない。

釈迦が無といひ、かたや量子論も無といひ。量子論の無は、無から有を生じているわけだか
ら、やっぱり有であると自分は思う。

私がいる、父・母がいる、父母の前は、とずっと突き詰めていくと、最終的には宇宙からでき
たということになる。

だから、何からできたのかという話になると、今分っていることは有から有を生んでいるんだ
ろうなあ。すなわち、無を生み出す場というものがあったと思う。それは有だと。

ワンポイント図書館活用で、いい資料を作ってもらったが、年配者が多いのでスライドを使う
ときは字を大きく拡大してほしい。

学人紹介

2009年3月18日開催

湯沢 幾男さん

「日本の風土を考える
～二つの風土論から
学んだこと」

阿部 幸次さん

「樺太アイヌの歴史と
山辺安之助の『あいぬ物語』」

2009年5月22日開催

細井 滋さん

「良寛和尚の足跡」

岡戸 大国さん

「無害な核エネルギーと
中央アジアの資源大国
カザフスタンの将来展望」

2009年7月24日開催

末満 宗治さん

「無いものを図書館で探す」

三沢 博志さん

「調べることはおもしろい・・・
～自然誌関係文献目録編集
の経験から～」

2009年10月30日開催

佐久間 直次さん

「豊富な史料を利用して学習
～天文と古代人の関わり～」

中條 藏實さん

「図書館を書斎に!
読書会100回余と
ポストモダン」

図書館 まなびトーク 学人(まなびと) ニュース 平成22年3月16日発行
千葉県立西部図書館編集 〒270-2252 千葉県松戸市千駄堀 657-7 TEL 047-385-4133
<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

2008年9月作成

【環境】 世界経済は瀬戸際にある。100年に一度起こるかどうかの深刻な危機（グリーンズパン前FRB議長）にあり、後世の歴史に名をとどめることは確実である。

サブプライム問題の顕在化から1年以上経過したが米金融不安は深刻の度を深めている。住宅市場低迷、消費抑制、雇用悪化などの先行き不安は世界に波及。米景気は今後4年間程度は不良債権処理に苦しむ可能性。米国の落日である。住宅金融2社に公的資金注入。

ユーロ圏：ユーロ発足後初のマイナス成長。景気減速感さらに強まる。「消費不振と住宅下落」で長期化へ。

中国：輸出先、日・米・欧の景気減速で苦境。「世界の工場」を支えた安い土地代、安い人件費、安い通貨、低い税率といった好条件が次々に消える。

インド：投資資金流入に資源高でインフレ加速。景気減速長期化リスク。
A.S.E.A.N.：域内輸出環境悪化、インフレと高金利で内需不振。

オセアニア：消費悪化、企業の雇用調整・投資抑制。

【報道】 米証券大手リーマン・ブラザーズ破綻。金融危機の連鎖。市場懸念。日・米・欧は資金供給拡充。日銀1.5兆円、FRB700億ドル、ECB300億ユーロ。

世界的な金融不安が加速している。経営危機に陥った米証券4位のリーマン・ブラザーズは、米連邦破産法11条（日本の民事再生法に相当）の適用を申請し経営破綻した。先週末から米金融当局や大手金融機関がリーマン買収の可能性を検討してきたが交渉は決裂。法定整理を余儀なくされた。負債総額6,180億ドル（約63兆7,500億円）は米国で史上最大の倒産となる。

「公的資金による安易な救済は行わない」という政治的意志を示した米政府は、金融機関の淘汰を加速させて早期の金融危機克服を目指す姿勢だ。

米銀行2位のバンク・オブ・アメリカは、米証券3位のメリルリンチ買収で合意。

日本法人のリーマン・ブラザーズ証券も倒産。負債総額は3兆4,134億円。過去2番目の大型倒産。リーマンの円建て外債1950億円債務不履行へ、地銀中心。邦銀などリーマン向け債権損失2,300億円以上に。日・米・欧政策金利据え置き。

【反応】 短期金融市場：金利低下
債券市場：利回り低下（価格上昇）
外国為替市場：ドル安・ユーロ安・円高
株式市場：大幅下落

【理由】 米証券4位のリーマン・ブラザーズが、米政府が救済策に深くかかわりながら破綻に追い込まれたことは市場の政府に対する信頼感を微妙な影を落とした。公的支援見送りというハードランディング（強行着陸）の決断が金融不安を収束に向かわせるかどうかについては懐疑的な見方をとらざるを得ない。現在、証券大手5社のうち3社が市場から退出する異常事態であり、第2、第3の危機が目前にあるからだ。果して納得のいく線引きでダブル・スタンダードを排除できるのか。

日本における97年の山一証券、北海道拓殖銀行、98年長銀など連続破綻で、「日本発の世界金融恐慌」への危機感を強めた政府は98年に公的資金投入による破綻処理や大手行への資本増強の枠組みを整備、金融危機への抜本的対応にカジを切っていた（別表参照）。今回の米国の対応は「つぶれるべき金融機関が退場して」初めて金融不安が解消するとの考えで、問題先送りの末に公的資金投入額を膨らませた日本の「失われた10年」を反面教師にしたのだろうか。

米金融環境は厳しさを増しているが、今回の決断はモラルハザード（倫理観の欠如）防止や当面の税金投入の抑制につながる反面、市場の疑心暗鬼がさらなる混乱を招きかねない「両刃の剣」である。

金融不安の根源である住宅市場はいまだ下げ止まっておらず2010年までは先が見とおせない不確実な時期が続くと考えられ、早急な次の標的を狙っている。ドミノ倒しが始まることも想定できる。リーマン型の破綻処理が今後も買われるかどうかは問題の大きさ次第だろうが、何らかの公的支援が不可避となる可能性は残る。米金融市場は日々新たな脅威に直面し、金融機関はリスクを避ける姿勢をより強めており、世界的に経済は勢いを失う恐れがある。苦境に立った企業が少しでも経営を抑制しようと人員整理を行えば失業率ははね上がり、個人消費にも悪影響が生じることは避けられない。FRBによる利下げや追加の景気対策が必要と指摘する声が多くなるものと考えられる。

米国の低所得者向け住宅融資（サブプライムローン）問題が欧州に飛び火した08年夏以降、世界のマネーの流れは明らかに変化している。余計なリスクをとることを極力減らし「質への逃避」「安全への逃避」「単純への逃避」を強めている。米国では換金性の高い3ヶ月物短期国債が買われ、MMFも大幅元本増となっている。究極は「現金」である。

【短期金融市場】 3ヶ月金利先物は米金融システム不安の高まりを背景に急伸。利回り低下。

【債券市場】 米証券大手のリーマン・ブラザーズの経営破綻を受けて、投資家がリスク回避姿勢を強め、株売り・債券買いが加速する。国債は幅広い年限に買いが入り利回り急低下。債券先物は流動性の高さに選好度が高まり、大幅上昇（価格）の可能性。市場は利下げを催促し始めるか。ただし格付けが相対的に低いトリプルB格（格付投資情報センター＝R&I）銘柄の国債利回りに対する上乗せ幅の平均値は上昇し、買い手不在の傾向が強まって上乗せ幅がさらに拡大する懸念があり、企業の資金調達にも悪影響が広がる可能性も考えられる。

【外国為替市場】 危機が深刻化すると市場参加者は低リスクの通貨に避難させる動きを急速に強める。今回の危機では基軸通貨ドルの信頼が揺らいでいるうえ、欧州経済の変調でドルの代替的な役割を担ってきたユーロも急落。金融危機が短期間で収束するとは考えにくく、实体经济の悪化で当面利上げも難しいドルを買う理由は乏しい。リスク回避姿勢を強めた海外の投機筋が、これまで売っていた円を買い戻す動きも出るだろう。円は英ポンドなど幅広い通貨に対し上昇すると考えられる。理由は日本は金融不安が小さいため、円を安全資産と位置付けて買う動きも想定されるからである。楽観的にみてもドルは円替りで高安を繰り返す不安定な状況が続くものと考えられる。

【株式市場】 米国で発生した金融ハリケーンや米景気の減速懸念のために、投資家は金融だけでなく、米経済全体に対しても一段と自信を喪失している。破綻は株式市場が想定していた中では最悪のシナリオである。米国・欧州株式市場の急落を受け東京市場は取引直後から売り注文が殺到。軒並み大幅下落し、中でもリーマンの債権者リストに顔を出している銀行など金融株への売り注文が突出するだろう。景気減速・円高も加わり、輸出関連・内需関連の業績が悪化し、決算予想は日を追って下方修正が相次ぐものと考えられる。市場はまだこの悪材料を織り込もうとしている最中である。第2、第3のリーマンの風評も伝わり下値を試していく展開になるだろう。

【別表】 日・米の金融危機推移

日 本		米 国	
不動産バブル崩壊	(90年)	住宅バブル崩壊	(08年3月)
三洋証券、北海道拓殖銀行、山一証券経営破綻	(97年)	ベア・スターンズ救済会併	(08年3月)
長銀・日債銀一時国有化	(98年)	住宅公社2社政府管理下へ	
りそな銀実業国庫化	(03年)	リーマンブラザーズ経営破綻	
住専処理に公的資金投入（6,850億円）	(96年)	メリルリンチ、バンカメ合併	(08年9月)
大手銀行に資本注入	(98, 99年)	ベア・スターンズにFRB救済特別融資	(08年3月)
整理回収機構設立	(96年)	住宅公社2社に資金投入枠設定	(08年9月)
日銀、銀行保有株2兆円買い取り	(02年)	財務省、住宅ローン担保証券購入（50億ドル）	
			(08年9月)

2010年のキーワードを占う

米：雇用 商業用不動産

欧：雇用 財政悪化とソブリン債リスク

日：雇用 財政悪化とソブリン債リスク

中：雇用 資産バブル



良寛について調べる ～県立図書館所蔵資料のご紹介～



良寛に関する事典・文献目録

No.	書名	著者等	出版者	出版年	請求記号	所蔵場所
1	良寛全集 別巻1 良寛 伝記・年譜・文献目録	良寛全集刊行会 谷川敏明 編著	野島出版	1981	1888/18/ハ1	開架
* 伝記は資料を引用し年代順に配列している						
2	良寛文献総目録	谷川 敏朗／編	象山社	2002.9	18882/7/	参考開架
* 寛政2年から平成12年までの良寛に関する文献を年代順に配列している						
3	良寛事典	加藤 僖一／著	新潟日報事業社出版部	1993.9	91115/20/	参考開架
* 良寛に関する基本的な事項586項目について解説を付し50音順に配列している						

人と思想

No.	書名	著者等	出版者	出版年	請求記号	所蔵場所
4	良寛の法華転・法華讃の偈	中村 宗一／著	誠信書房	1987.9	1833/4/	書庫
5	禅入門 12 良寛		講談社	1994.1	1888/163/12	開架
6	良寛争香	岡元 勝美／著	恒文社	1984.7	1888/38/	書庫
7	良寛の生涯と逸話	谷川 敏朗／著	恒文社	1984.8	1888/39/	書庫
8	良寛の偈と正法眼蔵	中村 宗一／著	誠信書房	1984.10	1888/41/	書庫
9	良寛の世界	宮 柁二／[ほか]著	大修館書店	1987.6	1888/73/	書庫
10	野の良寛 『良寛禅師奇話』を読む	松本 市寿／著	未来社	1988.7	1888/83/	書庫
11	良寛の逸話	谷川 敏朗／著	恒文社	1998.5	18882/32/	東部
12	良寛のひとり遊び 中国の禅者たちを友として ブックレット 新潟大学	中西 久味／著	新潟日報事業社	2003.2	18882/34/	中央
13	良寛の思想と精神風土	長谷川洋三 著	早稲田大学出版部	1979	91115/14/	書庫
14	大愚良寛 校註	相馬 御風／著 渡辺 秀英／校	考古堂書店	2001.9	91115/40	東部
15	沙門良寛 自筆本「草堂詩集」を読む	柳田 聖山／著	人文書院	1989.1	9195/4/	書庫
16	良寛・漂泊(サスライ)の詩	森山 隆平／著	雄渾社	1975	9195/R97/	書庫

和歌・詩・全集

No.	書名	著者等	出版者	出版年	請求記号	所蔵場所
17	良寛の書簡集	良寛／[著]	恒文社	1988.4	1888/78/	開架
18	良寛全集	良寛／著	恒文社	1989.6	1888/96/	開架
19	良寛・貞心尼の仮名を読む 良寛:いやひこ和歌巻 貞心尼:蓮の露・焼野の一草	梅津 昇／編著	考古堂書店	2000.12	91115/12/	中央
20	良寛歌集	良寛／著	木耳社	1979.2	91115/17/	開架
21	良寛歌集 東洋文庫	良寛／[著]	平凡社	1992.10	91115/18/	開架
22	良寛の名歌百選	良寛／[著]	考古堂書店	1998.4	91115/25/	東部
23	良寛 歌と生涯 筑摩叢書	吉野 秀雄／著	筑摩書房	1985	91115/R97/	書庫
24	良寛和尚の人と歌 弥生選書	吉野 秀雄／著	弥生書房	1972	91115/R97/	書庫
25	良寛歌集	良寛／[著]	創元社	1963	91115/R97/	書庫
26	良寛と万葉集 短歌入門	平野 秀吉／著	文理書院	1969	91115/R97/	書庫
27	定本良寛全集 第1巻 詩集	良寛／[著]	中央公論新社	2006.10	9185/15/1	東部
28	定本良寛全集 第2巻 歌集	良寛／[著]	中央公論新社	2006.11	9185/15/2	東部
29	定本良寛全集 第3巻 書簡集法華転・法華讃	良寛／[著]	中央公論新社	2007.3	9185/15/3	東部
30	定本良寛詩集訳	良寛／[原著]	名著出版	1989.12	9195/14/	開架
31	全釈良寛詩集	末御 豆口／編著	創元社	1962	9195/R97/	書庫

良寛の書

No.	書名	著者等	出版者	出版年	請求記号	所蔵場所
32	良寛字典	阿部 善太郎 / 編	雄山閣出版	1990.10	7280/30/	参考開架
33	文人書譜 6 良寛		淡交社	1979.7	7282/5/6	書庫
34	日本名跡叢刊 61 江戸;良寛 日本書紀齊明紀童謡考		二玄社	1982.5	7282/6/61	書庫
35	良寛の書の世界	小島 正芳 / 著	恒文社	1987.10	7282/14/	書庫
36	良寛書 あきのの	黒野清宇 著	中央公論美術出版	1991	7282/44/	書庫
37	良寛まんだら考 さみっと双書	「日本学」企画室 / 編	名著刊行会	1992.12	7282/49/	書庫
38	良寛百選	良寛 / [書]	日本経済新聞社	1996.10	72821/4/	東部
39	良寛の名品百選	加藤 信一 / 編	考古堂書店	2000.12	72821/42/	東部
40	良寛書簡の名品	菅川 敏功 / 編	考古堂書店	2002.1	72821/50/	東部
41	書道芸術 第20巻 新訂版 良寛	中田 勇次郎 / 責任編集	中央公論社	1979.10	7288/3/20	書庫

良寛についてそのほか

No.	書名	著者等	出版者	出版年	請求記号	所蔵場所
42	良寛研究論集	宮 栄二 / 編著	象山社	1985.5	1888/59/	書庫
43	良寛巡礼	小林 新一 / 著	恒文社	1992.3	1888/134/	書庫
44	良寛記念館と出雲崎	加藤 信一 / 編	考古堂書店	1999.10	18882/54/	東部
45	良寛をめぐる人々とその魅力	斎藤 広作 / 著	考古堂書店	2000.8	18882/60/	東部
46	良寛をもとめて 紀行シリーズ	松岡 新也 / 著	朝日ソノラマ	1975.11	18882/MA86	書庫
47	わがこころの良寛	早坂 暁 / [ほか] 著	春秋社	1994.2	18882/W14/	書庫
48	良寛の里美術館	良寛 / [書]	考古堂書店	2001.1	72821/43/	東部
49	良寛と貞心 その愛とこころ 第2版	中村 昭三 / 編	考古堂書店	2000.12	91115/35/	東部
50	手まりのえにし 良寛と貞心尼	伊藤 宏見 / 著	文化書房博文社	1993.4	911152/R97/	中央
51	国文学 解釈と鑑賞 1993年10月号 / 時空を越えて 良寛		至文堂	雑誌	雑誌	雑誌書庫
52	国文学 解釈と教材の研究 1998年6月号 / 良寛		学燈社	雑誌	雑誌	雑誌書庫
53	太陽 太陽 1994年11月号 / 良寛のように生きたい		平凡社	雑誌	雑誌	雑誌書庫

この他にも関連資料を所蔵しています。千葉県立図書館ホームページで蔵書の検索ができます。(URL: <http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>)
検索のしかた: HPTopp→図書・雑誌・視聴覚資料の検索→検索項目のタイトル、著者、個人人名、キーワードのいずれかに「良寛」を入力し検索。検索項目により検索結果は異なります。

<参考リンク>

良寛記念館ホームページ
<http://www8.ocn.ne.jp/~ryokan/index.html>



<ワンポイント活用で利用した資料>

- 『日本美術作品レファレンス事典 書跡篇1 日本の書』 日外アソシエーツ 2001.7
西部参考 7021-38-8
- 『日本美術作品レファレンス事典 絵画篇 近世以前』 日外アソシエーツ 1998.5
西部参考 7021-38-3

カザフスタンについて調べる 1

位置、面積、政治、経済等々、概略を知りたいときは…

<事典などで概略を知る>

- ・『最新世界各国要覧 11 訂版』

東京書籍編集部／編集 東京書籍 2003.7 西部 302-3 開架

世界200の国と地域についての基礎データをそれぞれ見開き2ページで掲載。

※2006.7 発行の12訂版を中央・東部で所蔵しています。

- ・『世界年鑑 2008』 共同通信社／編著 共同通信社 2008.3 西部 059-1-08 開架

世界のすべての国々と地域の最新情報を収録。第2部「各国の現勢」には07年の主要ニュースを網羅。年刊。

- ・『世界遺産ガイド 中央アジアと周辺諸国編』 古田 陽久／監修 古田 真美／監修

シンクタンクせとうち総合研究機構 2002.8 西部 709-7-18 開架

中央アジアと周辺諸国にあるユネスコの「世界遺産」や各国の文化について掲載。

<インターネット上の情報>

- ・日本カザフスタン共和国大使館（英語・日本語）

<http://www.embkazjp.org/>

- ・外務省→各国地域情勢→カザフスタン（日本語）

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/kazakhstan/>

- ・在カザフスタン日本国大使館（日本語）

<http://www.kz.emb-japan.go.jp/jp/>

<新聞で最新情報をチェック> 西部図書館で利用できるデータベース

- ・聞蔵Ⅱ（朝日新聞）

戦後（1945年から現代まで）の朝日新聞記事全てが検索できます。

- ・日経テレコン21（日本経済新聞）

1975年以降の日経4紙（日本経済、産業、MJ、ヴェリタス）の記事を検索できます。



カザフスタン共和国 (Republic of Kazakhstan)
首都：アスタナ (Astana)
独立年月日：1991年12月16日
面積：272万4900平方キロ（※日本の約7倍）
人口：1530万人（2006年推定）

カザフスタンについて調べる 2 もっと知りたい方に…
～カザフスタンに関する資料（県立図書館所蔵資料）～

No.	書名	著者等	出版者	出版年	請求記号	所蔵場所
1	中央ユーラシアを知る事典 ウズベキスタン+カザフスタン+ク ルグズスタン+タジキスタン+トルク メニスタン+アゼルバイジャン+ア ルメニア+グルジア+アフガニスタ ン+ロシア連邦+中国	小松 久男／編 集	平凡社	2005.4	229/1/	東部参考
2	カザフスタン 文庫クセジュ	カトリーヌ・プジョ ル／著	白水社	2006.9	22961/1/	東部
3	地球の歩き方 D15 '05～'06	「地球の歩き方」 編集室／編集	ダイヤモンド・ ビッグ社	2005.2	29093/2/06- 4-15	東部
4	カザフスタン 概要小冊子	駐日カザフスタン 共和国大使館／ 監修	駐日カザフス タン共和国大 使館	2006.10	29296/1/	開架
5	シルクロードを行く 中央アジア 五カ国探訪 ユーラシア・ブック レット	清水 陽子／ [著]	東洋書店	2008.6	29296/16/	東部
6	中央アジアを知るための60章 エリア・スタディーズ	宇山 智彦／編 著	明石書店	2003.3	30229/1/	開架
7	カザフスタン 草原と資源と豊かな歴史の国	角崎 利夫／著	早稲田出版	2007.12	30229/7/	中央
8	初代大使が見たカザフスタン	松井 啓／著	めるくまーる	2007.5	30229/11/	東部
9	崩壊か再生か ロシアとカザフスタン	鈴木 敏督／著	新評論	1994.9	30238/SU96/	中央
10	激動の十年 カザフから始まるユーラシアの改 革	ヌルスルタン・ナ ザルバエフ／著	L・H陽光出版	2005.6	31229/4/	中央
11	中央アジアの行方 米口中の綱引き	木村 汎／編	勉誠出版	2003.12	31929/1/	中央
12	中央アジアの市場経済化 カザ フスタンを中心に 研究双書	清水 学／編	アジア経済研 究所	1996.3	3322/309/	開架
13	中央アジア諸国の開発戦略 Kazakhstan Kyrgyz Tajikist an Turkmenistan Uzbekist an	橋田 坦／編	勁草書房	2000.11	33229/2/	開架
14	セミパラチンスク 草原の民・核汚染の50年	森住 卓／写真・ 文	高文研	1999.9	36936/1/	東部
15	カザフ語会話	飯沼 英三／著	ベスト社	1995.9	8295/34/	開架
16	週刊朝日百科 シルクロード紀 行 No. 10／カザフスタン 天山北路2 アルマトウイ		朝日新聞社		雑誌	東部雑誌
17	世界の動き 1994年6月号 ／カザフスタン共和国		世界の動き社		雑誌	雑誌書庫

千葉県の地図を探す

～ご利用の多い地図についてご紹介します～



パート1 現在の地図を探す

1 道路地図

資料名	所蔵館	請求記号
『千葉県広域・詳細道路地図 県別マップル 3版』/昭文社/2007 〔縮尺は3万分の1。(県南部など一部地域は6万分の1)〕	西部 郷土参考	C29-6
『千葉便利情報地図 街の達人』/昭文社/2009 〔県北西部、中央部の一部地域について、1万分の1の縮尺の地図を収録。〕	西部 郷土参考	C29-16

2 住宅地図・ブルーマップ

『住宅地図』(刊行頻度1～3年位)/ゼンリン 〔表札等の情報から建物名や建物ごとの居住者を記載している地図。当館では千葉県地域のみ所蔵しています。〕	西部 郷土参考	開架フロアの棚番号1番の前の箱にあります。
『ブルーマップ 松戸市』/民法法情報センター/2006 〔住宅地図の上に公図の地番情報と都市計画用途地域情報を加え、地番と住居表示が対照できるようにした地図。当館では松戸市のみ所蔵しています。〕	西部 郷土参考	

3 地価図

『地価マップ都市計画用途地域図千葉県』(年刊)/土地情報センター編/ゼンリン千葉支店 〔地図上に地価公示価格、地価調査価格を掲載し、都市計画用途地域ごとに色分表示されています。〕	西部 郷土参考	C334-6
--	------------	--------

4 路線価図

『路線価図 財産評価基準書』(年刊)/東京国税局 資料提供/全国官報販売協同組合 〔千葉県分について所蔵しています。〕	中央 郷土	C345-10
http://www.rosenka.nta.go.jp/ 〔国税庁のホームページに、過去3年分の全国の路線価図と評価倍率表が掲載されています。〕		

5 防災地図(マップ)・ハザードマップ

各市町村や県で発行しています。当館では請求記号 C3693 に分類しています。市役所のホームページに掲載している自治体もあります。

HP 千葉県防災ポータルサイト 〔千葉県ハザードマップが見られます。〕 http://www.bousai.pref.chiba.lg.jp/portal/index.html
<松戸市の例>
『松戸市防災マップ』C3693-11 や『松戸市地震ハザードマップ』C3693-23-08 など
HP 松戸市防災マップ・松戸市洪水ハザードマップ http://www.jamgis.jp/jam_matsudo/faces/jsp/bbs-theme.jsp?act=Bbs&organizationCode=org_urayasu

6 地形図

索引図で調べる 当館では国土地理院発行の全国の地形図(5万分の1、2万5千分の1)を所蔵しています。書庫にありますので、カウンターの索引図で必要な図名と請求記号を調べることができます。
HP 地図閲覧サービス(ウォッチーズ) 〔国土地理院ホームページの「地図・空中写真・地理調査」(http://www.gsi.go.jp/tizu-kutyu.html)内にあります。カラーの2万5千分の1地形図を試験公開しています。〕 http://watchizu.gsi.go.jp/index.html

7 航空写真

『千葉県全域航空写真と位置図』 / 千葉日報社企画開発局 編 / 千葉日報社 / 1989 〔縮尺は2万5千分の1。撮影日は1988年1,2月。〕	西部郷土	C2900-19
HP 航空写真画像情報所在検索・案内システム 〔国土交通省国土計画局が構築・運用。国や自治体などの各機関・組織が保有している航空写真を、統合的に検索することができます。〕 http://airphoto.gis.go.jp/aplis/Agreement.jsp		
HP 国土変遷アーカイブ・空中写真閲覧システム 〔国土地理院が保有する、戦後から現在までの国土の変遷が分かる空中写真の画像データを、検索・閲覧できます。〕 http://archive.gsi.go.jp/airphoto/		

パート2 昔の地図を探す

1 千葉県関係の目録で調べる

『資料の広場 No. 21 千葉県関係地図資料』 / 千葉県立中央図書館 編集 / 千葉県立中央図書館 / 1991 〔千葉県立中央図書館千葉県資料室所蔵の地図を古地図・絵図類、一般図（県域図、地域図、住宅地図等）、主題図（土地宝典、都市計画図等）、地形図に分けて収録しています。〕	西部郷土参考	C0250-4-21
『千葉県内公共図書館等所蔵地図集計書』 / 千葉県公共図書館協会 編集 / 千葉県公共図書館協会郷土行政資料研修部会 / 2003 〔1991～2002年に発行された地形図と住宅地図の県内公共図書館の所蔵状況を収録しています。〕	西部郷土参考	C027-9
『千葉県郷土資料総合目録 [第1集]』 千葉県公共図書館協会 編 / 千葉県立中央図書館 / 1973 『千葉県郷土資料総合目録 第2集』 千葉県公共図書館協会 編 / 千葉県立中央図書館 / 1984 〔第1集は昭和45年3月31日現在、第2集は第1集収録資料を除く昭和55年3月31日現在の、県内公共図書館が所蔵する千葉県郷土資料の目録。〕	西部郷土参考	C0250-1-1,2

2 地図集から探す（復刻版）

『伊能大図総覧 上・下』 渡辺 一郎監修 / 日本地図センター 編著 / 河出書房新社 / 2006 〔文政4年（1821）完成の伊能図の大図全214面の複製です。（大きさは原図の約1/3）〕	中央郷土 東部郷土参考	C29-54-1,2 C2901-1-1,2
『明治前期手書彩色関東実測図 第一軍管地方二万分一迅速測図原図復刻版 乾之部 坤之部』 / 迅速測図原図覆刻版編集委員会 編集 / 日本地図センター / 1991 〔明治13～19年にかけて作られた関東平野のほぼ全域と房総・三浦半島の迅速測図の復刻版です。〕	中央参考	2913-ME25 -
『明治十三年～十九年迅速測図二万分之一 千葉県1巻～3巻』 / 昭和礼文社 / 1977	中央郷土	C29M-SA61 -5-1～3
『明治大正日本五万分の一地図集成 1～4』 / 古地図研究会 / 1983	東部参考	29103-43 -1～4
『日本列島二万五千分の一地図集成 1～5・総合索引』 / 科学書院 / 1991～1995	中央参考	29103-N71 -1～5、A



県立図書館ではこのほかにも地図資料を多数所蔵しています。お探しの資料が見つからないときには、どうぞお気軽にご相談ください。



暦について調べる

調べ方の事例

Q 1 元禄15年12月14日は西暦ではいつか？

A. 1703年1月30日

調べ方

西暦（新暦）と和暦（旧暦）が対照できる資料で調べられます。和暦（旧暦）の元号がおおよそ何時代にあたるかもわからないときには、5番の棚にある日本史年表や日本史の辞典に載っている年号索引を使います。年だけわかればよいというときには、日本史の年表でも調べられます。

！ <西暦（新暦）と和暦（旧暦）が対照できる資料> 太字がQ1で調べた資料です

資料名	所蔵館	請求記号
『和洋暦換算事典 第5巻 南北朝編』 / 釣洋一 著 / 新人物往来社 / 1995 〔和暦から西暦（ユリウス暦・グレゴリオ暦）を調べられる。対象年代は、慶長5年（1253年）から応永24年（1417年）。曜日も調べられる。〕	西部参考	4493-6-5
『和洋暦換算事典 第6巻 室町・戦国編』 / 釣洋一 著 / 新人物往来社 / 1995 〔和暦から西暦（ユリウス暦・グレゴリオ暦）を調べられる。対象年代は、応永25年（1418年）から天正10年（1582年）。曜日も調べられる。〕	西部参考	4493-6-6
『江戸幕末・和洋暦換算事典』 / 釣洋一 著 / 新人物往来社 / 2004 〔和暦から西暦（グレゴリオ暦）を調べられる。対象年代は天正10年（1582年）から明治5年（1872年）。曜日も調べられる。〕	西部参考	4493-6
『日本陰陽暦日対照表 上巻・下巻』 / 加唐興三郎 編 / ニット - / 1992・1993 〔西暦（ユリウス暦（1582年まで）・グレゴリオ暦）から和暦を調べられる。対象年代は上巻：445年（允恭天皇34年）～1100年（康和2年）、下巻：1101年（康和3年）～1872年（明治5年）。干支も調べられる。〕	西部参考	4493-7-1,2
『古代中世暦 和暦・ユリウス暦 月日対照表』 / 日外アソシエーツ編集部 編 / 日外アソシエーツ / 2006 〔和暦から西暦（ユリウス暦）を調べられる。対象年代は推古天皇元年（593年）から天正10年（1582年）。日干支、日曜日、節気が調べられる。〕	西部参考	44981-5
『日本暦西暦月日対照表』 / 野島寿三郎 編 / 日外アソシエーツ / 1987 〔和暦から西暦（グレゴリオ暦）を調べられる。対象年代は天正10年（1582年）から明治5年（1872年）。曜日も調べられる。〕	西部参考	4498-3
『日本暦日総覧 具注暦篇（古代前期1～中世後期4）』 / 本の友社 / 1992-1995 〔和暦から西暦（ユリウス暦）を調べられる。対象年代は武烈天皇3年（501年）～明応9年（1500年）。日ごとの干支、節気等の暦注が記載されている。〕	西部参考	4498-5-1-1-5-4

Q 2 過去数年間、今後数年間の六曜（先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口）を知りたい。

A. 暦についての参考図書で調べられます。

調べ方

！ <明治6年以降の暦が調べられる資料> 太字がQ2で調べた資料です

『暦日大鑑 明治改暦1873年～2100年』 / 西沢宥綜 編著 / 新人物往来社 1994 〔1873年～2100年の年・月・日の暦（西暦、旧暦、曜日、干支、九星、六曜、二十四節気の日・時・分）が調べられる。（2051年からは各月の1日分のみ）〕	西部参考	4498-8
『20世紀暦 曜日・干支・九星・旧暦・六曜』 / 日外アソシエーツ編集部 編 / 日外アソシエーツ / 1998 〔明治6年（1873年）から平成12年（2000）までの、年・月・日の暦（西暦、旧暦、干支、九星、曜日、六曜、二十四節気、主な雑節）が調べられる。〕	西部参考	44981-2

『21世紀暦 曜日・干支・九星・旧暦・六曜』/日外アソシエーツ編集部編/日外アソシエーツ/2000 〔2001年から2100年までの、年・月・日の暦(西暦、旧暦、干支、九星、曜日、六曜、二十四節気、主な雑節)が調べられる。〕	西部参考	44981-3
---	------	---------

Q3 七夕、中秋の名月は今の暦ではいつか？

A. 2009年の伝統的七夕は8月26日、中秋の名月は10月3日でした。

調べ方

理科年表の暦部や、インターネットの暦に関するホームページに掲載されているほか、Q2で使った資料で、旧暦の7月7日、8月15日の日を調べる方法もあります。

！<七夕、中秋の名月について書かれた資料・ホームページ> **太字がQ3で調べた資料です**

『理科年表 第82冊(平成21年)』/国立天文台 編/丸善/2008 〔暦部、天文部、気象部、物理・化学部、地学部、生物部、環境部で構成され、暦部にはカレンダーの基準となるその年の暦情報が掲載されている。〕	西部参考	4036-1-09
HP 国立天文台 http://www.nao.ac.jp/ 〔天文情報について調べられる。国立天文台天文情報センター暦計算室(れきけいさんしつ)(http://www.nao.ac.jp/koyomi/)のページでは、今日のこよみ、今月のこよみ等の情報を掲載。〕 〔トップページ>よくある質問>3. 暦に関する質問>質問3-9)七夕について教えて? (http://www.nao.ac.jp/QA/faq/a0309.html)では2012年までの伝統的七夕の日を掲載。〕		
HP こよみのページ http://koyomi8.com/ 〔かわうそ@暦さんのページ。万年カレンダー、新暦(西暦)と旧暦(和暦)変換、太陽・月・惑星・四大小惑星の位置計算等の情報を調べられる。〕 〔トップページ>暦と天文の雑学>中秋の名月はいつ?(旧暦の十五夜は満月か?) (http://koyomi8.com/reki_doc/doc_0710.htm)では2011年までの中秋の名月の日を掲載。〕		

Q4 七十二候(しちじゅうにこう)について知りたい。

A. 二十四節気をさらにこまかく三等分して、一年を五日ごとに分けたのが七十二候である。(『暦の百科事典』より)

調べ方

暦についての参考図書で調べられます。『現代こよみ読み解き事典』p37~68に由来や読み方、『暦の百科事典』p322~324に読み方と解説、『暦と時の事典 日本の暦法と時法』p117~122に解説と読み方が載っています。

！<七十二候について書かれた資料> **太字がQ4で調べた資料です**

『現代こよみ読み解き事典』/岡田 芳朗 編著 阿久根末忠 編著/柏書房/1993 〔暦に記載されている二十四節気、暦注、年中行事等の事項について解説している。主な事項には振り仮名がついている。巻末に索引あり。〕	西部参考	4493-8
『暦の百科事典』/暦の会 編/新人物往来社/1986 〔暦に関する基礎的な知識を中心に、日常生活の中で見すごされがちな暦についての疑問に答える目的で編纂されている。巻末に「暦法5000年史年表」、暦に関する参考文献、索引あり。〕	西部参考	4490-2
『暦と時の事典 日本の暦法と時法』/内田正男 著/雄山閣/1986 〔暦、暦注、時刻、暦学に関わる人名等584項目について五十音順に配列。巻末に索引あり。〕	西部参考	4490-1



県立図書館では、このほかにも暦に関する資料を多数所蔵しています。県立図書館ホームページ(<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>)で調べるときには、検索項目で「一般件名」を選択し「暦」と入力して検索します。



新聞・雑誌で調べる

～入門編～



1. どんない新聞・雑誌が発行されているか調べる

書名	出版情報	請求記号
雑誌新聞総かたろぐ 2009年版 国内で発行されている新聞、雑誌2万タイトル以上を収録した年鑑。分野別に創刊年月日、発行部数、発行社、読者層、内容・特色などを記載。タイトル索引付き。	メディア・リサーチ・センター 2009	西部参考 0275-8-09

2. 図書館にある新聞・雑誌を調べる(所蔵検索)

2-1 県立図書館で所蔵している新聞を調べる

HP 新聞リスト http://www.library.pref.chiba.lg.jp/04booklist/newspaper/index.html (千葉県立図書館HPトップページ 資料のご案内 新聞リスト) 県立図書館で所蔵している新聞の一覧。原紙については保存期間を、縮刷版・復刻版・マイクロフィルムで所蔵している新聞については形態と所蔵期間を掲載。
--

2-2 県内公共図書館で所蔵している新聞・雑誌を調べる

HP 新聞・雑誌総合目録検索 (千葉県立図書館HPトップページ 資料を探す 新聞・雑誌総合目録検索) 県立図書館と県内市町村立図書館等が所蔵している新聞・雑誌を、タイトルの50音のリスト、または紙・誌名、出版社で検索できる。所蔵館、保存期間(県立所蔵分は巻号も)がわかる。
--

2-3 その他の図書館で所蔵している新聞・雑誌を調べる

HP 国立国会図書館NDL - OPAC http://opac.ndl.go.jp (国立国会図書館 資料の検索 NDL - OPAC 一般資料の検索/申込み) 国会図書館で所蔵している資料が検索できる。新聞・雑誌を調べる時は、「和雑誌新聞」や「洋雑誌新聞」の欄にチェックを入れて検索する。
HP 全国新聞総合目録データベース http://sinbun.ndl.go.jp (国立国会図書館 資料の検索 総合目録 全国新聞総合目録データベース) 国会図書館作成。国会図書館と全国約1300機関の新聞の所蔵が検索できる。
HP NACSIS Webcat (国立情報学研究所 カシウェア キャット) http://webcat.nii.ac.jp 全国の大学図書館等が所蔵する図書、雑誌の総合目録。学術雑誌を調べる時に。



新聞・雑誌の利用について

- 新聞・雑誌を読むには
西部図書館の開架書架には、2か月分(全国紙)、1ヶ月分(地方紙)、最新号のみ(雑誌)配架していません。バックナンバーは書庫に保管していますので、ご利用の際にはカウンターにお申し込みください。
- コピーするには
著作権法により、新聞・雑誌の最新号については1つの記事の半分までコピーできます。(バックナンバーの記事については全文コピーできます。)データベースは検索結果のプリントアウトができます。(出力可能件数はデータベースにより異なります。)
「資料複製申込書」にご記入いただき、カウンター職員の確認後、コピーをおとりください。<有料:白黒10円、カラー70円/1枚>
- 西部図書館にない新聞・雑誌を取り寄せるには
県内図書館で所蔵している雑誌(県立所蔵分は新聞も)のバックナンバーはお取り寄せができます。カウンターにお申し込みください。刊行後数ヶ月は取り寄せできない図書館が多いため、詳細についてはカウンターでご案内いたします。<ご利用は館内閲覧に限り、貸出し、コピーはできません。*県立所蔵新聞・雑誌のお取り寄せの場合にはコピーできます。>
- 記事のコピーを取り寄せるには
県内図書館や国会図書館等で所蔵している新聞・雑誌は、記事コピーのお取り寄せができます。カウンターで受け付けています。<有料:実費>

レファレンスサービス(図書館職員による調べもののお手伝い)をご活用ください!

お探しの新聞・雑誌や記事などありましたら、職員がお調べしますので、お気軽にカウンターにご相談ください。*ここに掲載している資料のほか、県立中央、東部図書館では、明治・大正・昭和期の読売新聞記事索引や、大宅壮一文庫雑誌記事索引(1996年以降)等も所蔵しています。

3. 新聞記事を探す(記事検索)

3-1 千葉県と県内地域に関する記事を探す

<p>HP 千葉県関係新聞・雑誌記事索引検索 (千葉県立図書館HPトップページ 千葉県関係索引データ検索 千葉県関係新聞・雑誌記事索引検索) 県立西部図書館所蔵の新聞・雑誌から、主要な千葉県関係の記事を採録。キーワード、地域名、発行年月日等で検索できる。対象期間は、千葉日報については1987年7月から現在まで、朝日・毎日・読売新聞(主に東葛地域版)と雑誌記事については1996年3月まで。</p>

3-2 最新の記事を探す(データベースはカウンター横の専用端末で利用できます)

<p>データベース 朝日新聞「聞蔵」 西部 朝日新聞の記事データベースで、1945年～1984年までは紙面イメージ、1985年以降はテキストデータを収録。地方版及び東京本社以外の記事も収録している。雑誌「AERA」(1988.5～)と「週刊朝日」(2000.4～)のニュース記事も収録。</p>
<p>データベース 日経新聞「日経テレコン2.1」 西部 日経4紙[日本経済(1975.4～)・日経産業(1975.4～)・日経MJ(1975.1～)・日経金融(1987.10～*休刊中)]の記事検索、および企業検索・人事検索ができる。</p>

3-3 古い記事を探す

<p>明治ニュース事典 全9巻 1(慶応4 明治10)～8(明治41 45)、総索引 毎日コミュニケーションズ 1983-86 西部参考 2106-42-1-9</p>	
<p>大正ニュース事典 全8巻 1(大正1-3)～7(大正14-15)、総索引 毎日コミュニケーションズ 1986-89 西部参考 2106-60-1-8</p>	
<p>昭和ニュース事典 全9巻 1(昭和1-3)～8(昭和17-20)、総索引 毎日コミュニケーションズ 1990-94 西部参考 2107-125-1-8A</p>	
<p>各時代に発行された新聞の主要な記事を掲載。各巻頭には五十音順索引、分類別索引、年次別索引があり、各時代の最終巻は時代ごとの総索引(事項別、見出し、年次別、分類別、写真・新聞・雑誌・広告等、資料編ごとの各索引)になっている。</p>	
<p>朝日新聞記事総覧 大正前期編、大正編、昭和編、平成編、人名索引 日本図書センター 1985-1999 西部参考 0710-5</p>	
<p>大正1年7月から平成4年12月までの朝日新聞縮刷版各月の巻頭にある記事索引を集めたもの。時代ごとの人名索引がある。<参考:1945年以降は上記3-2朝日新聞「聞蔵」もご覧ください></p>	

4. 雑誌記事を探す(記事検索)

4-1 千葉県と県内地域に関する記事を探す

<p>HP 千葉県歴史関係雑誌記事索引検索 (千葉県立図書館HPトップページ 千葉県関係索引データ検索 千葉県歴史関係雑誌記事索引検索) 県立中央図書館「千葉県資料室」で所蔵している雑誌の目次情報を検索できる。県内で発行されている歴史関係の雑誌や県の歴史について比較的多く記事を掲載している雑誌が対象。</p>

4-2 学術雑誌の記事を調べる

<p>HP 国立国会図書館NDL-OPAC「雑誌記事索引」 http://opac.ndl.go.jp (国立国会図書館 資料の検索 NDL-OPAC 雑誌記事索引の検索/申込み) 1948年以降、国会図書館が作成した雑誌記事索引が検索できる。索引の採録対象誌は国内刊行の学術雑誌を中心とした約19,000誌。論題名、著者、雑誌名、刊行年月等で検索可能。</p>
<p>HP Cini(国立情報学研究所論文情報ナビゲータ[サイニ]) http://ci.nii.ac.jp 学協会刊行物、大学研究紀要、国会図書館の雑誌記事索引などの学術論文情報が検索できる。一部の論文については無料で全文を閲覧できる。<参考:全文閲覧するには有料の論文もあります></p>
<p>データベース NICHIGAI/WEBサービス「MAGAZINEPLUS」 西部 国会図書館の雑誌記事索引のほか、論文集(1945-)、学会年報・研究報告(1945-)、一般誌・総合誌・ビジネス誌(1981-)、海外産業・企業誌紙(1984-2005)、国内経済専門・業界誌(1981-1995)が検索できる。</p>
<p>データベース 医中誌Web 西部 医学中央雑誌刊行会が作成する、国内で発行される医学・歯学・薬学関連領域の逐次刊行物約2400誌に収録された文献情報のデータベース。1983年以降のデータが検索できる。</p>

4-3 一般雑誌の記事を調べる

<p>大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録 28冊 大宅壮一文庫 1985-1997 西部参考 0275-15</p>	
<p>雑誌専門図書館・大宅壮一文庫所蔵雑誌の記事索引。週刊誌、総合誌、女性誌などの記事情報が検索できる。収録期間は明治期から1995年まで。人名編、件名編、件名総索引がある。 <参考:1996年以降の検索については、裏面「レファレンスサービスの活用について」もご覧ください></p>	

「図書館まなびトーク」実践報告書
～図書館を利用して行った生涯学習の発表会～

平成22年11月 発行

千葉県立西部図書館 編集・発行

〒270-2252 千葉県松戸市千駄堀 657-7

TEL 047-385-4133 FAX 047-384-1371

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>